人文・文化学群 人文学類

免許	免許法に	規定する科	· 目			
教	教科に関する	最低修行	导単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
围	国語学(音声言 語及び文章表 現に関するも のを含む。)	1以上	1以上	国語学(音声言 語及び文章表現 に関するものを 含む。)	(人文学類開設) ◎日本語学概論-a, ◎日本語学概論-b, 日本語音韻論-a・-b, 日本語文法論-a・-b, 日本語学演習 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, 日本語学講読 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 応用言語学講義 IV-a・-b, 応用言語学演習 IV-a・-b	
語	国文学(国文学史を含む。)	1以上	1以上	国文学	(比較文化学類開設) ◎日本文学概論, 日本文学講読1~8, 日本文学演習1~8, 日本文学特講1・2	
莳				国文学史	(比較文化学類開設) ◎日本文学史	
	漢文学	1以上	1以上	漢文学	(人文学類開設) ◎漢文学概論	
	書道 (書写を中 心とする。)	1以上	_	書道(書写を中 心とする。)	(共通科目開設) ◎芸術(書A・B・C)	3科目か ら1科目 選択必修 (中学の み)
(中:	合 計 学一種, 高校一種)	2 0	2 0			

⁽注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 本学における開設授業科目の欄中, \odot の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

人文·文化学群 人文学類

免	免許法に規定	 する科目			
許		最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目	備考
教科	教科に関する 専門的事項	中学校		(開設学群・学類)	5113
	日本史及び外国史	1以上	日本史	(人文学類開設) ◎ 日本史概説 I-a・-b(2科目セット), ◎ 日本史概説 II-a・-b(2科目セット), 考古学概説-a・-b, 民俗学概説 a, 日本史特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b 考古学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 民俗学特講-a・-b,	下線2つから1つを選 択必修
社			外国史	(人文学類開設) ○中国史概説-a・-b, ○<u>ヨーロッパ史概説-a・-b,</u> ○古代西アジア史概説-a・-b, 先史学概説-a・-b, 文化人類学概説, 中国史特講 I-a・-b, II-a・-b, 古代西アジア史特講 I-a・-b, III-a・-b, 生史学特講 I-a・-b, III-a・-b, 大史学特講 I-a・-b, III-a・-b, 工V-a・-b, 文化人類学講義 I-a・-b, III-a・-b 	下か選び44科修下か選び44科修下か選び44科修下か選び44科修下か選び44科修下か選ります。
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(人文学類開設) <u> ⑥歴史地理学概説-a・-b</u> , 歴史地理学研究法-a・-b	下線2科目 から1科目 選択必修
			地誌	(人文学類開設) ◎歴史地誌学-a ◎歴史地誌学-b	1 科目選択 必修
会	「法律学,政治学」	1以上	「法律学,政治学」	(社会学類開設) ③法学概論, ③民事法概論, ③政治学概論, ③国際政治史, 民法総則,刑法総論,刑法各論, 憲法Ⅰ~Ⅲ,商法Ⅰ,会社法Ⅰ・Ⅱ, 国際安全保障論, アメリカ外交史,行政学,比較政治学, アメリカの政治,国際政治学 (国際総合学類開設) 国際法Ⅰ,国際組織法	下線4科目 から1科目 選択必修
	「社会学,経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(人文学類開設) ○ <u>人間社会と宗教</u> (社会学類開設) ○社会学基礎論, ○現代社会論, ○ <u>現代経済史</u> , ○ <u>経済学基礎論</u>	下線5科目 から1科目 選択必修
	「哲学, 倫理学, 宗 教学」	1以上	「哲学,倫理学,宗教学」	(人文学類開設) ○哲学通論-a・-b, ○倫理学通論-a・-b, ○宗教学通論-a・-b, 東洋思想-a・-b, 哲学特講 I-a・-b, III-a・-b, IIII-a・-b, IV-a・-b, 哲学史 I-a・-b, III-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 倫理学特講 I-a・-b, III-a・-b, 倫理思想史 I-a・-b, II-a・-b, 宗教学-a・-b, 宗教哲学-a・-b, 比較思想論-a・-b, 東洋宗教思想史-a・-b, 西洋宗教思想史-a・-b 	下線 6 科目 から 2 科目 選択必修
	合計 (中学一種)	2 0			
		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中, $\bigcirc\bigcirc$ 及び $\bigcirc\bigcirc$ とあるものは両科目修得しなければならない。 3. 教科に関する専門的事項の欄中, \bigcirc 」内のものは \bigcirc 1 科目以上にわたり修得すればよい。 4. 本学における開設授業科目の欄中, \bigcirc の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

人文·文化学群 人文学類

<u> </u>	・又化字群 人又	、丁双				
免許	免許法に規	定する科目				
教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	高等学校		(1000)		
	日本史	1以上	日本史	(人文学類開設) <u>○ 日本史概説 I-a・-b(2科目セット)</u> , <u>○ 日本史概説 II-a・-b(2科目セット)</u> , 考古学概説-a・-b, 民俗学概説, 日本史特講 I-a・-b, III-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 考古学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b,	下線2 ら1つ 択必修	を選
地	外国史	1以上	外国史	(人文学類開設) ○中国史概説-a・-b,○ヨーロッパ史概説-a・-b,○古代西アジア史概説-a・-b,先史学概説-a・-b,文化人類学概説,	下か選び41科目	科目 修 下 線 か
理				中国史特講 I-a・-b, II-a・-b, 古代西アジア史特講 I-a・-b, II-a・-b, 先史学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・ -b, 文化人類学講義 I-a・-b, II-a・-b	必修	
歴史	人文地理学及び 自然地理学	1以上	人文地理学	(人文学類開設) ○歴史地理学概説-a・-b,歴史地理学研究法-a・-b(地球学類開設)人文地理学,地球環境学2,地理情報システム (GIS)	下線 2 から 1 選択必	科目
			自然地理学	(地球学類開設) <a>○地球環境学1 , <a>○地形学 , <a>地生態学 , <a>海洋学	下線 2 から 1 選択必	科目
	地誌	1以上	地誌	(人文学類開設) <u>◎歴史地誌学-a・-b</u> (地球学類開設) 地誌学	下線 2 から 1 選択必	科目
	合計 (高校一種)	2 0				

⁽注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, $\bigcirc\bigcirc$ 及び $\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ とあるものは両科目修得しなければならない。 2. 本学における開設授業科目の欄中, \bigcirc の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

人文·文化学群 人文学類

免	免許法に規定	する科目			
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校		(2000)	
	「法律学(国際法を 含む。),政治学(国 際政治を含む。)」	1以上	法律学	(社会学類開設) <u>③法学概論</u> , <u>③民事法概論</u> , 民法総則, 刑法総論,刑法各論,憲法 I ~Ⅲ, 商法 I ,会社法 I ・Ⅱ	下線2科目 から1科目 選択必修
			国際法	(国際総合学類開設) 国際法 I ,国際組織法	
公			政治学	(社会学類開設) ◎政治学概論, ◎国際政治史, 行政学	下線2科目 から1科目 選択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学,アメリカの政治, 国際政治学, 国際安全保障論, アメリカ外交史	
	「社会学,経済学(国際経済を含む。)」	1以上	社会学	(人文学類開設) ◎人間社会と宗教	
民	「哲学,倫理学,宗教学,心理学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ○哲学通論-a・-b,○倫理学通論-a・-b,東洋思想-a・-b,哲学特講 I-a・-b, II-a・-b,III-a・-b, IV-a・-b,哲学史 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b,IV-a・-b,倫理学特講 I-a・-b, II-a・-b,IV-a・-b,倫理学特講 I-a・-b, II-a・-b,宗教学-a・-b,宗教哲学-a・-b,宋教思想史-a・-b,東洋宗教思想史-a・-b,西洋宗教思想史-a・-b	下線6科目から2科目選択必修
	合計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 4. 「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び国際法」、区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。

人文・文化学群 人文学類

	免許法に規定	官する科目				
免許教	教科に関する	最低修得		区分	本学における開設授業科目	備考
科	専門的事項	中学校	高等学 校		(開設学群・学類)	
英	英語学	1以上	1以上	英語学	(人文学類開設) ②英語学概論-a・-b, 英語文法論・統語論(1)-a・-b, 英語文法論・統語論(2)-a・-b, 英語学演習(1)-a・-b, 英語学演習(2)-a・-b, 英語学演習(3)-a・-b, 英語学演習(4)-a・-b, 英語意味論・語用論(1)-a・-b, 英語意味論・語用論(2)-a・-b, 英語音韻論・形態論(2)-a・-b, 英語音韻論・形態論(2)-a・-b, 応用言語学講習 I-a・-b, 応用言語学演習 I-a・-b,	下線2科目 から1科目選 択必修
=±	英語文学	1以上	1以上	英語文学	(比較文化学類開設)◎英語圏文学論 I,◎英語圏文学論 II,◎英語圏文学論 III,英語圏文学・文化研究 I~III	下線3科目 から1科目選 択必修
語	英語コミュニケー ション	1以上	1以上	英語コミュニ ケーション	(人文学類開設) ○英語論文講読(1)-a・-b, ○英語論文講読(2)-a・-b, ○外書講読 I-a・-b, ○外書講読 II-a・-b, 英語論文講読(3)-a・-b, 英語論文講読(4)-a・-b, 英語学論文演習-a・-b 	下線8科目 から1科目選 択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎欧米文化論 V, ◎欧米文化論 VI, ◎欧米文化論 VII, ◎欧米文化論 VIII	下線4科目 から1科目選 択必修
(🗆	合計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

⁽注)本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

人文·文化学群 人文学類 (平成30年度以前入学者対象)

免	免許法に規定	する科目					
免許教科	教科に関する科目	最低修行	导単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教件に関する件目	中学校	高等学校		(IMBX 1-44 1-75K)		
ドイ	ドイツ語学	1以上	1以上	ドイツ語学	(人文学類開設) ②独語学概論 ドイツ語文法論・統語論・a・-b・-c ドイツ語意味論・語用論・a・-b・-c ドイツ語学講義 I -a・-b・-c ドイツ語学講義 II-a・-b・-c ドイツ語学演習 II-a・-b・-c ドイツ語学演習 II-a・-b・-c		
イッ語	ドイツ文学	1以上	1以上	ドイツ文学	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化論 I , ドイツ語圏文学・文化論 II , ドイツ語圏文学・文化論習 I ・ II		
	ドイツ語コミュニケー ション	1以上	1以上	ドイツ語コミュニ ケーション	(人文学類開設) ◎ <u>ドイツ語演習 II-a・-b・-c</u>	下線 科目 1科 択必	から 目選
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化概論,		
	合計 (中学一種,高校一種)	2 0	2 0				

⁽注)本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

免	免許法に規定	する科目				
免許教科	教科に関する科目	最低修行	导単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
枓	AXTICK FOTE	中学校	高等学校			
フ	フランス語学	1以上	1以上	フランス語学	(人文学類開設) <u>○仏語文法論·a・·b・·c</u> 仏語学概論 仏語文法講読·a・·b・·c 仏語史講義·a・·b・·c 仏語意味論·a・·b・·c 仏語学演習 I <u>·a・·b・·c</u> 仏語学演習 II <u>·a・·b・·c</u>	下線は3 科目から 1科目選 択必修
ランス	フランス文学	1以上	1以上	フランス文学	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論 I, ◎フランス語圏文学・文化講読 I, ◎フランス語圏文学・文化講読Ⅲ, フランス語圏文学・文化講読Ⅲ,	下線は3 科目から 1科目選 択必修
語	フランス語コミュニケー ション	1以上	1以上	フランス語コミュ ニケーション	(人文学類開設) ◎仏語音声学・音韻論 <u>-a・-b・-c</u> 仏語演習a・-b・-c	下線は3 科目から 1科目選 択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論Ⅱ テクスト文化学研究 II, テクスト文化学演習 III	
	合計 (中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

⁽注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文·文化学群 人文学類 (平成30年度以前入学者対象)

名	免許法に規定	する科目				
免許教科	光 む) > 目目 - ナマ む ロ	最低修得単位数		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	教科に関する科目	中学校	高等学校			
	中国語学	1以上	1以上	中国語学	(人文学類開設) ◎中国語学概論 中国語学講義·a··b 中国語学演習 I-a··b 中国語学演習 II-a··b	
中国	中国文学	1以上	1以上	中国文学	(比較文化学類開設) <u>○中国文学概論</u> , <u>○中国文学史</u> , <u>○中国文学講読Ⅰ・Ⅱ(2</u> 科目セット), 中国文学演習Ⅰ・Ⅱ	下線3つ からいず れか選択 必修
語	中国語コミュニケーション	1以上	1以上	中国語コミュニ ケーション	(人文学類開設) ◎中国語演習-a・-b	
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設)◎アジアの民族と文化 I,アジアの民族と文化 II,アジアの民族と文化演習 I~IV	
	合計 (中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

注) 本学における開設授業科目の欄中, ②の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

<i>t</i> z.	免許法に規	定する科目	1			
免許教	教科に関する	最低修復	导単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学 校		(開放子群・子類)	
巫	国語学(音声言語及 び文章表現に関す るものを含む。)	1以上	1以上	国語学(音声言語及びするものを含む。)	(日本語・日本文化学類開設) ◎現代日本語声・音韻, 日本語の音声・音韻演習, 日本語の音声・音韻演習, 日本語の文法 I~IV, 日本語の文法演習 I・II, 日本語の充語彙, 日本語の部元の方析, 日本語の一のパス分析, 日本語のの談話, 日本語の談談話, 日本語の談談話所入。 日本語の談談話所入。 日本語の談談話所入。 日本語の談談話所入。 日本語の記述では、 日本語の言談話が表現。 日本語が表現。 日本語がまれた。 日本語が表現。 日本語が表現 日本語が、またまが表現 日本語が表現 日本語が表現 日本語が、またまが、またまが、またまが、またまが、またまが、またまが、またまが、また	
語	国文学(国文学史を含む。)	1以上	1以上	国文学	(比較文化学類開設) ◎日本文学概論, 日本文学講読1~8, 日本文学演習1~8, 日本文学特講1・2	
				国文学史	(比較文化学類開設) ◎日本文学史	
	漢文学	1以上	1以上	漢文学	(比較文化学類開設)◎中国文学概論,◎中国文学史,中国文学講読Ⅰ・Ⅱ,中国文学演習Ⅰ・Ⅱ	下線2科目 から1科目 選択必修
	書道 (書写を中心と する。)	1以上	_	書道(書写を中 心とする。)	(共通科目開設) ◎芸術 (書A・B・C)	3科目から 1科目選択 必修 (中学 のみ)
(‡	合計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文·文化学群 比較文化学類

免	免許法に規定す	ナる科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校), 	(開政于併・于規)	
	日本史及び外国史	1以上	日本史	(比較文化学類開設) ◎日本研究概論 I・Ⅱ(2科目セット), 民俗学概論,日本研究特論, 日本の生活と文化,日本の宗教と文化, 日本の政治と社会,民俗学研究 I・Ⅱ	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, ◎アジア研究概論, 文化人類学概論,文化創造論概論, 先端文化学概論,文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ, 欧米文化論Ⅰ・Ⅱ・Ⅸ・X	
	地理学(地誌を含む)	1以上	地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 比較文化地理学 II (地球学類開設) ◎都市地理学,交通地理学,農村地理学(3科目 セット) ◎地球環境学 1	下線3つか ら1つを選 択必修
社			地誌	(地球学類開設) ②地誌学 (比較文化学類開設) 地域地理学 I · II (地球学類開設) 社会地域論,観光地域論,経済地域論	
会	「法律学,政治学」	1以上	下法律学, 政治学」	(社会学類開設) ③法学概論, ◎民事法概論, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法総論, 刑法各論, 憲法 I ~Ⅲ, 商法 I,会社法 I・Ⅱ, 有価証券法基礎, 電子記録債権法(電子手形), 行政法, 刑事訴訟法, 民事訴訟法, 民事法述法, 民述法述法, 民述法述法, 民述法述法, 民述法述法述法述法, 民述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法述法	下線2科修下が選び2科修下が選び二科科修下が選 1日目及線ら択 201日
	「社会学,経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(比較文化学類開設) ◎情報文化概論, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論, 広告文化論,映像文化論	
	「哲学,倫理学,宗 教学」	1以上	「哲学, 倫 理学, 宗教 学」	(比較文化学類開設) ③現代思想概論 I・Ⅱ, ②比較宗教概論 I・Ⅱ, 文化創造論研究 V, 表象芸術論研究 I・Ⅱ, 先端文化学研究Ⅲ~VI, 記号文化論, 分析哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究 I・Ⅱ, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論Ⅲ~VI	下線2科目 から1科目 び二年目 2科目 2科目選択 2科目選択 必修
	合計 (中学一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中, $\bigcirc\bigcirc$ 及び $\bigcirc\bigcirc$ とあるものは両科目修得しなければならない。 3. 教科に関する専門的事項の欄中,「 」内のものは 1 科目以上にわたり修得すればよい。 4. 本学における開設授業科目の欄中, \bigcirc の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

	人工工作 比较人们	1 75			T
免	免許法に規定	する科目			
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校			
	日本史	1以上	日本史	(比較文化学類開設) ③日本研究概論 I・Ⅱ(2科目セット), 民俗学概論, 日本研究特論, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の政治と社会, 民俗学研究 I・Ⅱ	
地	外国史	1以上	外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, ◎アジア研究概論, 文化人類学概論, 文化創造論概論,	
理				先端文化学概論, 文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ, 欧米文化論Ⅰ・Ⅱ・IX・X	
歴	人文地理学及び自然 地理学	1以上	人文地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論, 比較文化地理学Ⅱ (地球学類開設) ◎都市地理学,交通地理学,農村地理学(3科 目セット)	下線2つから1つを選択必修
史			自然地理学	(地球学類開設) ◎地球環境学 1	
	地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学, 社会地域論, 観光地域論, 経済地域論 (比較文化学類開設) 地域地理学Ⅰ・Ⅱ	
	合計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、 $\bigcirc\bigcirc$ 及び $\bigcirc\bigcirc$ とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

	免許法に規定					
免許教	元刊なてがた			本学における開設授業科目	/++:	-17 .
教科	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数	区 分	(開設学群・学類)	備	考
47	导門的爭坦	高等学校				
公	「法律学(国際法を 含む。),政治学(国 際政治を含む。)」	1以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, 民法総則,契約, 事務管理・不当利得・不法行為,債権総論,物権, 担保物権,親族・相続, 刑法総論,刑法各論, 憲法Ⅰ~Ⅲ,商法Ⅰ,会社法Ⅰ・Ⅱ, 有価証券法基礎, 電子記録債権法(電子手形), 行政法,刑事訴訟法, 民事訴訟法A・B	下線2から1 選択必	科目
			法律学(国際法を含む。)	(社会学類開設) 比較憲法, 開発法学		
			政治学	(社会学類開設) ◎政治学概論, ◎国際政治史, 現代政治分析,政治過程論, 行政学, 地方自治論	下線 2 から 1 選択必	科目
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際安全保障論, アメリカ外交史, 現代政治外交		
	「社会学,経済学(国 際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(比較文化学類開設) ◎情報文化概論		
民			経済学(国際経済を含む。)	(比較文化学類開設) 広告文化論,映像文化論, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論		
	「哲学,倫理学,宗 教学,心理学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ③現代思想概論 I・Ⅱ, ③比較宗教概論 I・Ⅱ, 文化創造論研究 V, 表象芸術論研究 I・Ⅱ, 先端文化学研究Ⅲ~VI, 記号文化論, 分析哲学,現代倫理学,哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究 I・Ⅱ, 比較思想研究,比較思想史研究, 比較宗教論Ⅲ~VI	下か選び21 採ら 1 1 1 2 1 4 8 1	^料 目 多 及 か ら
	合計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 4. 「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び法律学(国際法を含む。)」, 区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。

人文 · 文化学群 比較文化学類

免	免許法に規定する科目					
許教	教科に関する	最低修得単位数		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
英	英語学	1以上	1以上	英語学	(人文学類開設) ◎ <u>英語学概論-a・-b</u> , 英語文法論・統語論(1) -a・-b, 英語文法論・統語論(2) -a・-b, 英語学演習(1) -a・-b, 英語学演習(2) -a・-b, 英語学演習(3) -a・-b, 英語学演習(4) -a・-b, 英語意味論・語用論(1) -a・-b, 英語意味論・語用論(2) -a・-b, 英語音韻論・形態論(1) -a・-b, 英語音韻論・形態論(2) -a・-b, 応用言語学演習 I -a・-b, 応用言語学演習 I -a・-b,	下線2科目から1科目選択必修
語	英語文学	1以上	1以上	英語文学	(比較文化学類開設)○英語圏文学論 I,○英語圏文学論 II,○英語圏文学論 III,英語圏文学・文化研究 I~III	下線3科目 から1科目 選択必修
нц	英語コミュニケー ション	1以上	1以上	英語コミュニ ケーション	(人文学類開設) ○英語論文講読(1) -a・-b, ○英語論文講読(2) -a・-b, ○外書講読 I-a・-b, ○外書講読 II-a・-b, 英語論文講読(3) -a・-b, 英語論文講読(4) -a・-b, 英語論文講読(4) -a・-b,	下線8科目 から1科目 選択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ○欧米文化論VI, ○欧米文化論VII, ○欧米文化論VII, ○欧米文化論VII	下線4科目 から1科目 選択必修
(2 0	2 0			

⁽注)本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

人文·文化学群 比較文化学類 (平成30年度以前入学者対象)

免	免許法に規定	免許法に規定する科目				
免許教科		最低修得単位数		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	教科に関する科目	中学校	高等学校		(Mass 1 H) 1 797	
F	ドイツ語学	1以上	1以上	ドイツ語学	(人文学類開設) ◎独語学概論, ドイツ語文法論・統語論-a・-b・-c, ドイツ語意味論・語用論-a・-b・-c, ドイツ語学講義 I-a・-b・-c, ドイツ語学講義 II-a・-b・-c, ドイツ語学演習 I-a・-b・-c, ドイツ語演習 II-a・-b・-c,	
イーツー	ドイツ文学	1以上	1以上	ドイツ文学	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化論 I ドイツ語圏文学・文化論 II, ドイツ語圏文学・文化演習 I ・ II	
語	ドイツ語コミュニケー ション	1以上	1以上	ドイツ語コミュニ ケーション	(比較文化学類開設)◎ドイツ語翻訳演習 Iドイツ語翻訳演習 II◎ドイツ語翻訳演習 IIIドイツ語翻訳演習 IV	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化概論	
	合 計 (中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

免	免許法に規定	する科目				
免許教科	数なり 7月日 ナッカロ	最低修得単位数		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	教科に関する科目	中学校	高等学校		(1.4.5.4.4.1.4.5.4.4.1.4.4.1.4.4.1.4.4.1.4.4.1.4.4.1.4.4.1.4	
	フランス語学	1以上	1以上	フランス語学	(人文学類開設) ○仏語文法論·a・·b・·c,仏語学概論,仏語文法講読·a・·b・·c,仏語史講義·a・·b・·c,仏語学演習 I-a・·b・·c,仏語学演習 II-a・·b・·c	下線は3 科目から1 科目選択 必修
フランス	フランス文学	1以上	1以上	フランス文学	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論 I, ◎フランス語圏文学・文化講読 I, ◎フランス語圏文学・文化講読Ⅲ, フランス語圏文学・文化講読Ⅲ, フランス語圏文学・文化講読 II,IV	下線は3 科目から1 科目選択 必修
語	フランス語コミュニケー ション	1以上	1以上	フランス語コミュ ニケーション	(人文学類開設) ◎仏語音声学・音韻論・a・·b・·c, (比較文化学類開設) フランス語圏文学・文化演習 I ・ II	
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論Ⅱ※ テクスト文化学研究Ⅱ, テクスト文化学演習Ⅲ 文化創造論演習Ⅰ	
	合 計 (中学一種, 高校一種)	20	2 0		温の際の必依利日を主子	

- (注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 2. ※印の科目は平成26年度までに取得した場合、「フランス文学」の区分に属する。

人文·文化学群 比較文化学類 (平成30年度以前入学者対象)

免	免許法に規定	免許法に規定する科目				
免許教科	対心()と目がよって(ロ	最低修得単位数		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	教科に関する科目	中学校	高等学校		(1/45/17)	
	中国語学	1以上	1以上	中国語学	(人文学類開設) ◎中国語学概論 a・b(2科目セット), 中国語文法論 a・b 中国語語彙論 a・b 中国語語学演習 Ia・Ib・IIa・IIb 中国語学特講 Ia・Ib・IIa・IIb	
中国語	中国文学	1以上	1以上	中国文学	(比較文化学類開設) ○中国文学概論,○中国文学史 I,○中国文学史 II,○中国文学講読 I ・ II (2科目セット)中国文学講読 II ~ V中国文学演習 I ~ III	下線4つ からいず れか選択 必修
	中国語コミュニケーション	1以上	1以上	中国語コミュニ ケーション	(人文学類開設) ◎中国語論文演習 a・b(2科目セット) ◎中国語作文演習 a・b(2科目セット)	2つから1 つを選択 必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎中国の言語と文化 a ◎中国の言語と文化 b	
	合計 (中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

⁽注) 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類

免	免許法に規定	する科目					
免許教	教科に関する	最低修行	导単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	中学校	高等学校		(Dage Call		
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1以上	1以上	国語学(音声言語及びするものを含む。)	(日現) (日現) (日現) (日現) (日現) (日現) (日期) (日前		
	国文学(国文学史を含む。) 漢文学	1以上	1以上	国文学国文学史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の文学概論, 日本文学とその特質演習 I, 日本文学とその特質演習 II, 日本文学と自然, 国語科教育と文学, 国語科教育と文学演習 (日本語・日本文化学類開設) ◎日本文学の歴史 (日本語・日本文化学類開設) ◎中国文学と日本文学, ◎中国文学と日本文学演習 I	ら 1 選択』	
	書道 (書写を中心とする。)	1以上	_	書道(書写を中 心とする。)	(共通科目開設) ◎芸術(書A・B・C)	ら 3 選 択	目科必学の
1)	合 計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。
 - 3. 平成30年度以前入学の日本語・日本文化学類生にあっては、現代日本語概論 I および現代日本語概論 I にかわり、現代日本語概論 (日本語・日本文化学類開設) を必修科目とすることができる。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 (平成29年度以前入学者対象)

免	免許法に規定	 する科目			
免許教科	教科に関する科目	最低修得単位数 中学校	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	日本史及び外国史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論, 日本の宗教と芸能,日本の経済と文化 近代日本の文化交流,近代日本の文化交流演習 (比較文化学類開設) 日本研究概論 I・II,民俗学概論,日本研究特論,日本の生活と文化,日本の宗教と文化,日本の政治と社会,民俗学研究 I・II	
社	h冊学(地誌を今to) 1 DJ b		外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, 文化人類学概論	
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(地球学類開設) ○地球環境学1,○都市地理学・農村地理学(2科目セット),(比較文化学類開設)○文化地理学概論 比較文化地理学 II	下線3つ からいず れか選択 必修
			地誌	(地球学類開設) ②地誌学 観光地域論,経済地域論 (比較文化学類開設) 地域地理学 I・Ⅱ (日本語・日本文化学類開設) 日本の地誌と生活	
	「法律学,政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の政治と社会 (社会学類開設) 法学概論,民事法概論,政治学概論, 国際政治史	
会	「社会学,経済学」	1以上	「社会学,経済学」	(社会学類開設) <u>○社会学基礎論</u> , <u>○現代社会論</u> , <u>○現代経済史</u> , <u>○経済学基礎論</u> (比較文化学類開設) 情報文化概論, 広告文化論, 映像文化論, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論 (日本語・日本文化学類開設) 日本語・日本文化国際研修 I~III	下線は4 科目から 1科目選 択必修
	「哲学,倫理学,宗教学」	1以上	「哲学,倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論 I・Ⅱ から1科目, ◎ <u>比較宗教概論 I・Ⅱ から1科目</u>	下線及び 二重下線 から2科 目選択必 修
	合 計 (中学一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中、○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 5. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあっては、ヨーロッパ史概説 a・b、オリエント史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し、東洋の歴史と文化と併せて、区分「外国史」の必修を満たすこと。
 - 6. 平成28年度以前入学者にあっては、地域研究論 A~C(3科目セット)を必修科目とすることができる。
 - 7. 平成30年度以前に社会地理学 A \sim C(3科目セット),自然環境論(いずれも比較文化学類開設)を修得済みの者にあっては,当該の科目を必修科目とすることができる。
 - 8. 平成30年度以前に日本の政治と社会 $I \cdot II$ (日本語・日本文化学類開設)を修得済みの者にあっては、当該の科目(2科目)を必修科目とすることができる。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 (平成29年度以前入学者対象)

台	免許法に規定する科目					
免許教科	#L(1) > HILL > 1\1 D	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教科に関する科目	高等学校				
地	日本史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ②日本の歴史概論, 日本の宗教と芸能, 日本の経済と文化 近代日本の文化交流, 近代日本の文化交流演習 (比較文化学類開設) 日本研究概論 I・II, 民俗学概論, 日本研究特論, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の政治と社会, 民俗学研究 I・II		
理	外国史	1以上	外国史	(日本語・日本文化学類開設) ②東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ③欧米研究概論, 文化人類学概論		
歴史	人文地理学及び自然地 理学	1以上	人文地理学	(地球学類開設) ◎都市地理学・農村地理学(2科目セット), (比較文化学類開設) ◎文化地理学概論, 比較文化地理学 Ⅱ	下かれが必	選択
			自然地理学	(地球学類開設) ◎地球環境学1		
	地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ②地誌学 観光地域論,経済地域論 (比較文化学類開設) 地域地理学 I・II (日本語・日本文化学類開設) 日本の地誌と生活		
	合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中、○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。
 - 3. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあっては、ヨーロッパ史概説 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ 、オリエント史概説 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ (人文学類開設)から1科目を選択し、東洋の歴史と文化と併せて、区分「外国史」の必修を満たすこと。
 - 4. 平成28年度以前入学者にあっては、地域研究論 $A\sim C$ (3科目セット)を必修科目とすることができる。
 - 5. 平成30年度以前に生活文化の地理(日本語・日本文化学類開設)を修得済みの者にあっては、当該の科目を必修科目とすることができる。
 - 6. 平成30年度以前に自然環境論(比較文化学類開設)を修得済みの者にあっては、当該の科目を必修科目とすることができる。

社会 · 国際学群 社会学類

免許	免許法に規定	する科目			
教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校		(100 - 1 - H) - 1 /9//	
公	「法律学(国際法を 含む。),政治学(国 際政治を含む。)」	1以上	法律学	(社会学類開設) ②法学概論, ○民事法概論, 民法総則,契約, 事務管理・不当利得・不法行為,債権総論,物権,担保物権,親族・相続,刑法総論,刑法各論,憲法Ⅰ~Ⅲ,商法Ⅰ,会社法Ⅰ・Ⅱ,有価証券法基礎,電子記録債権法(電子手形),行政法,刑事訴訟法,民事訴訟法A・B	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
			法律学(国際法を含む。)	(社会学類開設) 比較憲法, 開発法学	
			政治学	(社会学類開設) ◎政治学概論, ◎国際政治史, 現代政治分析,政治過程論, 行政学,地方自治論	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学,アメリカの政治, 国際政治学,国際安全保障論, アメリカ外交史,現代政治外交	
	「社会学,経済学(国際経済を含む。)」	1以上	社会学	(社会学類開設) ◎ 社会学基礎論, ◎ 現代社会論, 現代社会学の系譜,都市社会学, 組織社会学,知識社会学, 逸脱行動論−犯罪社会学Ⅰ, スポーツ文化論,歴史社会学	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
民			経済学	(社会学類開設) ミクロ経済学,日本経済史, ◎現代経済史, ◎経済学基礎論, 日本経済論,経済思想史Ⅰ・Ⅱ, 経済数学	下線2科目 から1科目 選択必修
			経済学(国際経 済を含む。)	(社会学類開設) 開発経済学, Economic History	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ⑤哲学通論-a・-b, ⑥倫理学通論-a・-b, ◎宗教学通論-a・-b, 東洋思想-a・-b	下線6科目 から2科目 選択必修
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、()内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中、「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ②の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 4. 「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び法律学(国際法を含む。)」, 区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。
 - 5. 「社会学,経済学(国際経済を含む。)」は、区分「社会学」,区分「経済学及び経済学(国際経済を含む。)」のいずれかを最低限修得すること。

社会・国際学群 社会学類 (平成29年度以前入学者対象)

	免許法に規定					
免許	元町石に死足		<u> </u>	^	本学における開設授業科目	/++: -+*
免許教科	教科に関する科目	最低修得単位数	区	分	(開設学群・学類)	備考
科	4X11(C)X) 011 f	中学校				
	日本史及び外国史	1以上	日本史		(人文学類開設) <u>◎ 日本史概説 I·a</u> ・· <u>b</u> , <u>II·a</u> ・· <u>b</u> , 民俗学概説·a	下 目 か と を 選 形 と の と の と の と の と の に る に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る に る 。 に る に る る に る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 る 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。
			外国史		(人文学類開設) ○中国史概説·a··b,○ヨーロッパ史概説·a··b,○オリエント史概説·a··b,先史学概説·a··b,文化人類学概説·a··b	下目科必二年 線か目後重科 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日
社	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学		(地球学類開設) ⑥人文地理学, 交通地理学, 地理情報システムA・B, 地形学, 海洋学, 地球環境学1・2, 地生態学	
			地誌		(地球学類開設) ◎地誌学, 世界地誌 I ~Ⅲ	
	「法律学,政治学」	1以上	「法律学,学」		 ○法学概論, ○民事法概論, ○政治学概論, ○国際政治史, 民法総則,契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論,物権,担保物権,親族・相続, 刑法総論,刑法各論,憲法I~Ⅱ, 商法I,会社法I・Ⅱ, 有価証券法基礎、電子記録債権法(電子手形), 行政法,刑事訴訟法,民事訴訟法A・B, 比較憲法,行政学,地方自治論, 比較政治学,アメリカの政治,国際政治学, 国際安全保障論,アメリカ外交史, 現代政治外交 	下線は4 科目日 1 科目 択必修
会	「社会学,経済学」	1以上	「社会学,学」	経済	(社会学類開設) ②社会学基礎論, ②現代社会論, ③経済学基礎論, ②現代経済史, 現代社会学の系譜, 都市社会学, 組織社会学, 知識社会学, 逸脱行動論―犯罪社会学 I, スポーツ文化論, 歴史社会学, ミクロ経済学, 日本経済史, 日本経済論, 経済数学, 経済思想史 I・Ⅱ, 開発経済学, Economic History	下線は44 科目和 1科目 択必修
	「哲学,倫理学,宗教学」	1以上	「哲学,倫理 宗教学」	理学,	(人文学類開設) ○<u>哲学通論·a··b</u>,○<u>倫理学通論·a··b</u>,○<u>宗教学通論·a··b</u>,東洋思想·a··b	下線は6 科目から 2科目選 択必修
	合 計 (中学一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 教科に関する科目の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会·国際学群 国際総合学類

_	T.			Ti di		
免	免許法に規定	でする科目				
許教	教科に関する	最低修得単位数		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
英	英語学	1以上	1以上	英語学	(人文学類開設) <u>○ 英語学概論-a・-b</u> , 英語文法論・統語論(1) -a・-b, 英語文法論・統語論(2) -a・-b,	下線2科目 から1科目 選択必修
	英語文学	1以上	1以上	英語文学	(比較文化学類開設) ◎ 英語圏文学論 I ~Ⅲ, 英語圏文学・文化研究 I~III	下線3科目 から1科目 選択必修
	英語 コミュニケー ション	1以上	1以上	英語コミュニ ケーション	(国際総合学類開設) ◎English Discussion Seminar (A), ◎English Discussion Seminar (B), ◎English Discussion Seminar (C), ◎English Discussion Seminar (D), English Debate	下線4科目 から1科目 選択必修
語	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(国際総合学類開設) ◎文化・開発論, 開発人類学, 国際文化論, 地域開発論, Social Anthropology(社会人類学)	
(合 計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

⁽注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会·国際学群 国際総合学類 (平成30年度以前入学者対象)

<i>t</i> z.	免許法に規定	する科目				
免許教科		最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教科に関する科目	中学校		(田原文于和十十十十六年)		
	日本史及び外国史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (国際総合学類開設) 現代日本外交史		
社			外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (国際総合学類開設) 国際関係史序説		
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(国際総合学類開設) ◎地理学概論 水環境論 野外調査法		
			地誌	(国際総合学類開設) ◎Social Anthropology		
	「法律学,政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(国際総合学類開設) ◎国際学 I , 比較政治学, 国際政治学,国際機構論, 国際相互依存論,国際政治経済学 I , 国際法概論,国際法 I , 国際組織法,日本政治		
会	「社会学,経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(国際総合学類開設) ②国際学Ⅲ, ③国際学Ⅲ, 国際経済論,開発経済学,国際金融論, 国際貿易論,計量経済学, 初級ミクロ経済学,世界経済史, 公共経済学,経済数学, マクロ経済学概論, ヨーロッパ社会経済史, Comparative Economics, 社会開発論		から ·目選
	「哲学,倫理学,宗教学」	1以上	「哲学,倫理学, 宗教学」	(全学群対象) ◎哲学通論CI,CⅡ,DI,DⅡ 哲学通論CI,DIは同一科目 哲学通論CⅡ,DⅡは同一科目 「大学類開設) 哲学通論 a・b,倫理学通論 a・b,宗教学通論 a・b		
	合 計 (中学一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中、() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、 $\bigcirc\bigcirc$ 及び $\bigcirc\bigcirc$ とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 教科に関する科目の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会·国際学群 国際総合学類 (平成30年度以前入学者対象)

ム	免許法に規定	する科目				
免許教科	#L(1) 7 11 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教科に関する科目	高等学校		Anney 1 at 1 300		
	「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政	1以上	法律学	(国際総合学類開設) ⑥法学概論		
	治を含む。)」	· 图记。)」	国際法	(国際総合学類開設) ◎国際法概論 国際法Ⅰ,国際組織法		
			政治学	(国際総合学類開設) ◎比較政治学 日本政治,現代日本外交史		
公			国際政治	(国際総合学類開設) ◎国際学 I , 国際政治学 , 国際機構論 , 国際相互依存論 , 国際政治経済学 I		
	「社会学, 経済学 (国際 経済を含む。) 」	1以上	社会学	(国際総合学類開設) ◎国際学Ⅲ, 現代社会論, ジェンダー社会論		
民			経済学	(国際総合学類開設) ◎初級ミクロ経済学 計量経済学, マクロ経済学概論, 世界経済史, 都市経済学, 公共経済学, 経済数学, ヨーロッパ社会経済史, Comparative Economics		
			国際経済	(国際総合学類開設) ◎国際学Ⅱ, 国際経済論,開発経済学,国際金融論, 国際貿易論,社会開発論		
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1以上	「哲学,倫理学, 宗教学,心理学」	(全学群対象) ◎哲学通論CI,CⅡ,DI,DⅡ 哲学通論CI,DIは同一科目 哲学通論CⅡ,DⅡは同一科目 (人文学類開設) 哲学通論a・b,倫理学通論a・b,宗教学通論a・b (心理学類開設) 社会心理学		
	合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中、() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 4. 「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び国際法」,区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。
 - 5. 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」は、区分「社会学」,区分「経済学及び国際経済」のいずれかを最低限修得すること。

社会·国際学群 国際総合学類 (平成30年度以前入学者対象)

			八丁·口/3 <i>3</i> /7			
免	免許法に規定	する科目				
免許教科	教科に関する科目	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教件に関する行首	高等学校				
	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び情報倫理	(理工学群開設)○科学技術倫理知的財産と技術移転		
情	コンピュータ及び情報 処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ及び 情報処理(実習を 含む。)	(国際総合学類開設) ◎情報科学 I 情報科学Ⅱ,		
	情報システム(実習を含む。)	1以上	情報システム (実 習を含む。)	(国際総合学類開設)◎C プログラミング,データ解析		
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1以上	情報通信ネット ワーク	(国際総合学類開設) 情報セキュリティ		
			情報通信ネット ワーク(実習を含 む。)	(情報科学類開設) ◎コンピュータネットワーク		
報	マルチメディア表現及 び技術(実習を含む。)	1以上	マルチメディア表 現及び技術	(国際総合学類開設) 音声聴覚情報処理, パターン認識, ディジタル信号処理		
			マルチメディア表 現及び技術 (実習を含む。)	(国際総合学類開設) ◎知能情報メディア実験 B		
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業		
	合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, \odot の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 教育学類

免	免許法に規定す	ナる科目					
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区	分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	中学校					
	日本史及び外国史	1以上	日本史		(教育学類開設) ◎日本史概論, 日本教育史		
社			外国史		(比較文化学類開設) ○欧米研究概論(日本語・日本文化学類開設)○東洋の歴史と文化(教育学類開設)外国教育史,アジア教育史	下線にからに選択する	1科目
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学		(教育学類開設) ◎地理学概論		
			地誌		(教育学類開設) ◎地誌概論, 地域と教育		
	「法律学,政治学」	1以上	「法律学, 〕学」	政治	(社会学類開設)◎法学概論(教育学類開設)教育法制論,教育行財政論		
	「社会学,経済学」	1以上	「社会学, ; 学」	経済	(教育学類開設) ◎社会学概論, 教育社会学 I, 教育社会学 II		
会	「哲学,倫理学,宗教 学」	1以上	「哲学, 倫理宗教学」	里学,	(教育学類開設) ◎哲学概論, 教育哲学, 道徳教育論, 比較道徳教育論, 教育思想論, 教育臨床学		
	合計 (中学一種)	2 0					

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 教育学類

免	免許法に規定す	ナる科目			
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校		(1.4.5.1.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	
	日本史	1以上	日本史	(教育学類開設) ⑥日本史概論, 日本教育史	
地理	外国史	1 以上	外国史	(比較文化学類開設) ◎ <u>欧米研究概論</u> (日本語・日本文化学類開設) ◎ <u>東洋の歴史と文化</u> (教育学類開設) 外国教育史, アジア教育史	下線2科目 から1科目 選択必修
歴	人文地理学及び自然地理学	1以上	人文地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論, 比較文化地理学 I · Ⅱ (地球科学類) ◎都市地理学, 交通地理学, 農村地理学 (3 科目セット), (教育学類開設) 比較教育文化論	下線 2 つか ら 1 つを選 択必修
史			自然地理学	(地球学類) ◎地球環境学1	
	地誌	1以上	地誌	(教育学類開設) ◎地誌概論, 地域と教育	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、 $\bigcirc\bigcirc$ 及び $\bigcirc\bigcirc$ とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 教育学類

免許	免許法に規定す	する科目			
教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校			
	「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」	1以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論, 民事法概論	
公			国際法	(国際総合学類開設) ◎国際法 I, ◎国際組織法 (教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論	下線2科目 から1科目 選択必修
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学概論</u> , ◎ <u>政治思想</u>	下線2科目 から1科目 選択必修
	「社会学,経済学(国際経済を含む。)」	1以上	社会学	(教育学類開設) ◎社会学概論, 教育社会学 I, 教育社会学 II	
民	「哲学,倫理学,宗教学,心理学」	1以上	「哲学, 倫理学 宗教学, 心理学		
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中、「 」内のものは 1 科目以上にわたり修得すればよい。

 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 心理学類

免許	免許法に規定す	する科目					
教	教科に関する	最低修得単位数	区	分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	高等学校					
	「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」	1以上	法律学		(社会学類開設) ◎法学概論		
公			国際法		(教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論		
	「社会学,経済学(国際経済を含む。)」	1以上	社会学		(心理学類開設) ◎社会学概論, 社会・集団・家族心理学, 産業・組織心理学		
民	「哲学,倫理学,宗教学,心理学」	1以上	「哲学, 能 宗教学, 心		(心理学類開設) ◎心理学基礎論, 青年心理学, 教育・学校心理学, 発達心理学, 学習・言語心理学		
	合 計 (高校一種)	2 0					

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中、「 」内のものは 1 科目以上にわたり修得すればよい。

 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 障害科学類

	免許法に規定す	トス科目			
免許				本学における開設授業科目	備考
教科	教科に関する	最低修得単位数	区 分	(開設学群・学類)	1 個 右
1-1	専門的事項	高等学校			
	社会福祉学(職業指導	1以上	社会福祉学 (職	(障害科学類開設) ◎社会福祉原論 I	
	を含む。)		業指導を含む。)	社会福祉原論Ⅱ	
	高齢者福祉,児童福祉 及び障害者福祉	1以上	高齢者福祉	(障害科学類開設) ◎高齢者福祉論	
			児童福祉	(障害科学類開設) ◎児童福祉論	
			障害者福祉	(障害科学類開設) ◎障害者福祉論 I ◎障害者福祉論 II	
福	社会福祉援助技術	1以上	社会福祉援助技術	(障害科学類開設) ◎相談援助の基盤と専門職 I ◎相談援助の基盤と専門職 II ◎相談援助の理論と方法 I ◎相談援助の理論と方法 II 相談援助の理論と方法 III	
				相談援助の理論と方法IV 社会福祉調査論 地域福祉の理論と方法 I 地域福祉の理論と方法 I 権利擁護と成年後見制度 就労支援サービス論	
	介護理論及び介護技 術	1 以上	介護理論	(障害科学類開設) ◎介護概論 I ◎介護概論 II	
			介護技術	(障害科学類開設) ◎介護技術	
祉	社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習 及び社会福祉施設等 における介護実習を 含む。)	1以上	社会福祉総合 署(社会福祉 報及 報社施設 に は る介護 と さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ う さ う さ う き さ う き き さ う き き き き	(障害科学類開設) ○介護実習(事前及び事後指導含む。)○ソーシャルワーク実習○ソーシャルワーク演習 I○ソーシャルワーク演習 I○ソーシャルワーク演習 I ○ソーシャルワーク演習 II	下か選び3 1 4 1 4 1 4 1 4 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1
	人体構造及び日常生 活行動に関する理解	1以上	人体構造及び日 常生活行動に関 する理解	(障害科学類開設) ◎医学概論 I	
	加齢及び障害に関す る理解	1以上	加齢及び障害に 関する理解	(障害科学類開設) ◎高齢障害学 I ◎高齢障害学 II ◎障害原理論 I	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 4. 「介護実習」は、「福祉」免許のみの取得を希望する者を対象とする。高齢者施設、障害者施設など介護業務を行う施設を実習先とすること。
 - 5. 「ソーシャルワーク実習」は、社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する者を対象とする。「福祉」免許を併せて取得する場合は、高齢者施設、障害者施設など介護業務を行う施設を実習先とすること。

生命環境学群 生物学類 (中学校一種·理科)

	免許法に規定	中字校一種・埋 権 	.,		
免許教		最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目	備考
教科	教科に関する 専門的事項	中学校	- %	(開設学群・学類)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	物理学	1以上	物理学	(生物学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1以上	化学	(生物学類開設) ◎化学序説 有機化学 I 有機化学 II	
理	生物学	1以上	生物学	(生物学学学学学のでは、 (生物・生論論では、 一型では、 を ののでのでする。 ののでする。 ののでする。 ののでする。 ののでする。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	6科目セットで必修
	地学	1以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化 学 実 験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1以上	化学実験 (コン ピュータ活用 を含む。)	(化学類開設) ◎化学実験	
科	生物学実験(コンタ活用を含む。)	1以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物学学学学学学学等等等 「生物を生物類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類類	

			発生生物学実験 II 生殖生物学臨海実習 動物生理学実験 植物生理学実験 代謝生理化学実験 応用生物化学実験 I 応用生物化学実験 II 応用生物化学実験 II 植物バイオテクノロジー実験	
地 学 実 験 (コンピュータ活用を含む。)		地学実験 (コン ピュータ活用 を含む。)	(地球学類開設) ②地球学実験	
合 計 (中学一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 3. 令和元年度以前入学者にあっては,区分「生物学実験(コンピュータ活用を含む。)」の基礎生物学実験 $I \cdot II \cdot III$ (3科目セット)を,「生物学類開設の基礎生物学実験 $S \cdot F$ (2科目セット)」を修得することによって替えられるものとする。
 - 4. 平成26年度以前入学者にあっては、系統分類・進化学概論、分子細胞生物学概論に替えてそれぞれ分類学概論、細胞学概論を必修科目とすることができる。

生命環境学群 生物学類(高等学校一種・理科)

免	環境学群 生物学類(免許法に規定)				
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校		(四以丁廿 丁秋/	
	物理学	1以上	物理学	(生物学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1以上	化学	(生物学類開設) ◎化学序説 有機化学 I 有機化学 II	
理	生物学	1以上	生物学	(生系の会員を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	6 科目セットで必修
	地学	1以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)化学実験(コンピュータ活用	 (化学類開設)	
科	(コンピュータ活用 (コンピュータ (コンピータ (コンピー		を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)		

		 . —	
合 計 (高校一種)	2 0		

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。 ただし高校1種の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から選択した1以上の科目について、 指定されたものを修得すること。
 - 4. 令和元年度以前入学者にあっては、区分「生物学実験(コンピュータ活用を含む。)」の基礎生物学実験 $I \cdot II \cdot III$ (3科目セット)を、「生物学類開設の基礎生物学実験 $S \cdot F$ (2科目セット)」を修得することによって替えられるものとする。
 - 5. 平成26年度以前入学者にあっては、系統分類・進化学概論、分子細胞生物学概論に替えてそれぞれ分類学概論、細胞学概論を必修科目とすることができる。

生命環境学群 生物資源学類(中学校一種・理科) [令和2(2020)年度入学者対象]

免	免許法に規定	する科目		나 쓰는 그 그는 것 테르니죠 쏘다 다	
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校			
	物理学	1以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学 I ・ II (2科目セット), 流れの科学 I ・ II, 土の物理学 I ・ II, 熱・物質移動の科学 I ・ II, 高分子科学, 材料力学	
理	化学	1以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学 I・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, 生物資源報生物学, 生物子発生制御学, 基礎子発性制御学, 生体模倣化学, 複合材料工学	
	生物学	1以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・エシス開設のどれか) ②生物学序説 (生物資源学類開設) ②資源植物保護学, 植物遺伝学, 資源物生が学 資物生産が 資源を受け、 資源を受け、 資源を受け、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、	2 科目から1 科目 選択必修
	地学	1以上	地学	(物理・化学・応理・エシス開設の どれか) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
科	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	物理学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)		
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)		
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	◎生物学実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
	地 学 実 験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)		
	合 計 (中学一種)	2 0			
(3)		日的東西の棚出	() 内のものはひ;	 ず含めて修得しなければならない。	1

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類 (高等学校一種・理科) [令和 2 (2020) 年度入学者対象]

免	免許法に規定	する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校			
	物理学	1以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学 I・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学 I・Ⅱ, 土の物理学 I・Ⅱ, 熱・物質移動の科学 I・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	
理	化学	1以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学 I・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, 生物資源大然物化学, 生物資源大生物学, 生物資源大生物学, 基礎生物化学工学, 分子発生制御学, 生体模做化学, 復合材料工学	
	生物学	1以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・エシス開設のどれか) ◎生物学序説 (生物資源学類開設) ◎資源植物保護学, 植物遺伝学, 資物動動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生熱学, 本林村物学, 会子生物学	2科目から 1科目選択 必修
	地学	1以上	地学	(物理・化学・応理・エシス開設の どれか) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
科	「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験	1以上	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎物理学実験(生物資源学類開設)バイオプロセスシミュレーション, 生物材料学実験	
	(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」		化学実験(コン ピュータ活用 を含む。)	(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験	
			生物学実験(コ ンピュータ活 用を含む。)	◎生物学実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
			地学実験 (コン ピュータ活用 を含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
	合 計 (高校一種)	2 0			
(沪) 1 数利に関する声明	出め東西の棚内			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類 (中学校一種·理科) [平成 31 (2019) 年度以前入学者対象]

免	免許法に規定する科目			나 쓰) ~ 가 가 그 테르마션 뽀 전 ㅁ	
許教科	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校			
	物理学	1以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学 I ・ II (2科目セット), 流れの科学 I ・ II, 土の物理学 I ・ II, 熱・物質移動の科学 I ・ II, 高分子科学, 材料力学	
理	化学	1 以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学 I・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, 生物質解生物学, 生物化学工学, 分古、数子、数生物化学, 基礎子、数子、数子、数子、数子、数子、数子、数子、数子、数子、数子、数子、数子、数子	
	生物学	1以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・エシス開設のどれか) ②生物学序説 (生物資源学類開設) ③資源植物学 資源を物質が 資源が遺伝学, 資源を受け、 資物のですが、 でである。 でである。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、	2科目から1科目選択必修
	地学	1以上	地学	(物理・化学・応理・エシス開設の どれか) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
科	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)		
	化 学 実 験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)		
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	◎農林生物学基礎実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
	地 学 実 験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)		
	合 計 (中学一種)	2 0			
(3)		日的東西の棚出	() 内のtのけひ		_1

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類 (高等学校一種·理科) [平成 31 (2019) 年度以前入学者対象]

<i>t</i> z.	免許法に規定を	 する科目			
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校		(4.4.5.4.4.1.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.	
	物理学	1以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学 I・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学 I・Ⅱ, 土の物理学 I・Ⅱ, 熱・物質移動の科学 I・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	
理	化学	1以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学 I・I (2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, が成能能化学, 環境保全科学, 生物資保全科学, 生物資保金科学, 生物資明報生物学, 基礎生物化学工学, 分子発生制御学, 生体模版化学, 複合材料工学	
	生物学	1以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・エシス開設のどれか) ◎生物学序説 (生物資源学類開設) ⑥資源生物保護学, 植物資源植伝学, 資源動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生態学, 生態学, 全林植物学, 会本林植物学, 分子生物学	2科目から 1科目選択 必修
	地学	1以上	地学	(物理・化学・応理・エシス開設の どれか) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実施(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験 (生物資源学類開設) バイオプロセスシミュレーション, 生物材料学実験	
			化学実験 (コン ピュータ活用 を含む。)	(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験	
			生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	農林生物学実験, 植物寄生菌学実験 	
			地学実験 (コン ピュータ活用 を含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
	合 計 (高校一種)	2 0			
<u> </u>		111	[科目以上にわたり修得すれば上い	1

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類

免	免許法に規定す	ナる科目				
治 教科	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 中学校	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
	木材加工(製図及び実 習を含む。)	1以上	木材加工	(生物資源学類開設) 生物材料学, ◎木材加工学		
			木材加工(製図 及び実習を含 む。)	(生物資源学類開設) ◎木材加工学実習		
技	金属加工(製図及び実 習を含む。)	1 以上	金属加工(製図 及び実習を含 む。)	(生物資源学類開設) ◎機械・食品工学実験		
	機械(実習を含む。)	1以上	機械	(生物資源学類開設) 生物機械工学, 生物施設工学		
			機械(実習を含む。)	(生物資源学類開設) ◎生物機械工学実習		
	電気(実習を含む。)	1以上	電気(実習を含む。)	(生物資源学類開設) ◎環境工学基礎実験		
	栽培(実習を含む。)	1以上	栽培	(生物資源学類開設) 環境有機農業論		
術			栽培(実習を含む。)	(生物資源学類開設) ◎生物資源生産科学実習Ⅰ, 森林育成学実験, 有機農業実習		
	情報とコンピュータ (実習を含む。)	1 以上	情報とコン ピュータ	(生物資源学類開設) 実用解析 I		
			情報とコン ピュータ(実習 を含む。)	(生物資源学類開設) ◎生物資源科学情報処理実習		
	合 計 (中学一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ②の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類

免	免許法に規定	する科目				
許教科	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
	教科に関する専門的事項	高等学校 1以上	農業の関係科目		3つな	考 ら1 が とう は おお は おお は か ま は か ま か ま ま か ま ま か ま ま か ま ま か ま ま ま ま
業	職業指導	1 以上	職業指導	食と緑の環境工学インターンシップ, 土壌調査法実習, 森林生物学実習, 植物寄生菌学, 環境植物生態化学, 植物生理学, 応用微生物学, 植物育種学, 応用動物昆虫学, 農耕文化史論, 農村社会・農史学演習 (教職科目その他開設)		
	合計 (高校一種)	2 0		◎職業指導		

⁽注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類 (平成29年度以前入学者対象)

Æ	免許法に規定す	る科目			
免許教科	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校		(mgx 1 m+ · 1 - /m)	
	日本史及び外国史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (生物資源学類開設) 農耕文化史論	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化	
社	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(比較文化学類開設) ○文化地理学概論 ○社会地理学 A~C(3科目セット), ○自然環境論, (生物資源学類開設) 水資源環境工学,森林環境社会論	下線3つ からいず れか選択 必修
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域研究論 A~C	
	「法律学,政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論 ◎民事法概論 (生物資源学類開設) ◎農林業政策論	1科目選択必修
会	「社会学,経済学」	1以上	「社会学,経済学」	(生物資源学類開設) ◎経済学 I・Ⅱ (2科目セット), ◎社会科学基礎 I・Ⅱ, 生物資源経済学,国際資源開発経済学,農村社会学,森林資源経済学,森林管理学,資源・開発経済学基礎演習,森林管理・経済学基礎演習,食料経済分析論,資源開発経済学,アグリビジネス論,国際森林管理論,生物資源経済学演習,国際資源開発経済学演習,国際資源開発経済学演習,農村社会・農史学演習,森林管理学演習	下(2科目は 2 年 2 年 3 年 4 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5
	「哲学,倫理学,宗教学」	1以上	「哲学,倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論 I・Ⅱ から1科目, ◎比較宗教概論 I・Ⅱ から1科目, ②比較宗教概論 I・Ⅱ から1科目, 文化創造論研究 V, 表象芸術論研究 I・Ⅱ, 先端文化学研究Ⅲ~VI, 記号文化論, 分析哲学, 言語哲学, 科学哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究 I・Ⅱ, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論 I~Ⅷ	下線及び 二重下線 から2科目 選択必修
	合 計 (中学一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 教科に関する科目の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 4. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。
 - 5. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあっては、ヨーロッパ史概説 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ 、オリエント史概説 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ (人文学類開設)から1科目を選択し、東洋の歴史と文化と併せて、区分「外国史」の必修を満たすこと。
 - 6. 平成28年度以前入学者にあっては、地域研究論 $A\sim C$ (3科目セット) を必修科目とすることができる。

生命環境学群 生物資源学類 (平成 29 年度以前入学者対象)

在	免許法に規定す	一る科目				
免許教科	教科に関する科目	最低修得単位数 高等学校	区	分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」	1以上	法律学		(社会学類開設) ◎法学概論 ◎民事法概論	1科目選 択必修
			国際法		(社会学類開設) 国際法 I ,国際組織法	
			政治学 を含む。	(国際政治)	(生物資源学類開設) ◎農林業政策論	
	「社会学,経済学(国際 経済を含む。)」	1以上	社会学		(生物資源学類開設) ◎社会科学基礎 I ・Ⅱ, 農村社会学, 農村社会・農史学演習	
公			経済学		(生物資源学類開設) 生物資源経済学, 森林資源経済学, 資源・開発経済学基礎演習, 森林管理・経済学基礎演習, 食料経済分析論, 資源開発経済学, アグリビジネス論, 生物資源経済学演習, 森林資源経済学演習,	
民			経済学を含む。	(国際経済)	(生物資源学類開設) ◎経済学 I · II (2科目), 国際資源開発経済学, 森林管理学, 国際森林管理論, 国際資源開発経済学演習, 森林管理学演習	下線は2科目セットで必修
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1以上	「哲学, 宗教学」	倫理学,	(比較文化学類開設) ③現代思想概論 I・Ⅱ から1科目, ③比較宗教概論 I・Ⅱ から1科目, 文化創造論研究 V, 表象芸術論研究 I・Ⅱ, 先端文化学研究Ⅲ~VI, 記号文化論, 分析哲学, 言語哲学, 科学哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究 I・Ⅱ, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論 I~Ⅷ	下線及び 二重下線 から2科 目選択必 修
	合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中、() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 4. 「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び国際法」,区分「政治学(国際政治を含む。)」のいずれかを最低限修得すること。
 - 5.「社会学、経済学(国際経済を含む。)」は、区分「社会学」、区分「経済学(国際経済を含む。)」のいずれかを最低限修得すること。

生命環境学群 地球学類 (平成31(R1)年度以降入学者用)

n	24 OE 1 4T 20-01 1 A	9 (1/2/01 (111)	千皮以阵八十七 爪.	/	
免	免許法に規定	定する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校			
	日本史	1以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 I -a・I -b(2科目セット) ◎日本史概説 II -a・II -b(2科目セット), 考古学概説-a・-b 民俗学概説	下線 2 つか ら 1 つを選 択必修
地	外国史	1 以上	外国史	(人文学類開設) ○中国史概説-a・-b○ヨーロッパ史概説-a・-b○古代西アジア史概説-a・-b先史学概説-a・-b文化人類学概説	下線2科目 から14科目 が選び二年 1科目 1科目 14科 14科 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14
理	人文地理学及び 自然地理学	1以上	人文地理学	(地球学類開設) ⑥人文地理学 都市地理学 農村地理学 地理情報システム (GIS) 地域計画論	
歴史			自然地理学	(地球学類開設) ◎ <u>地形学</u> ◎ <u>水文科学</u> 氷河凍土学 地生態学 海洋学 水環境リモートセンシング 水土環境動態論	下線2科目 から1科目 選択必修
	地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ②地誌学 経済地域論 観光地域論 世界地誌Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類 (平成30年度以前入学者用)

		規 (十成00千万			
免	免許法に規定	定する科目			
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項 高等学校 日本史 1以上 日本駅				
	日本史	1以上	日本史	(人文学類開設) <u>③日本史概説 I -a・I -b(2科目セット)</u> <u>③日本史概説 II -a・II -b(2科目セット)</u> , 考古学概説-a・-b 民俗学概説	下線 2 つか ら 1 つを選 択必修
地	外国史	1以上	外国史	(人文学類開設) ○中国史概説-a・-b○ヨーロッパ史概説-a・-b○古代西アジア史概説-a・-b先史学概説-a・-b文化人類学概説	下線2科目 かまり が おい おい おい おい は は は は は は は は は は は は は は
理	人文地理学及び 自然地理学	1以上	人文地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学 都市地理学 農村地理学 地理情報システム (GIS) 地域計画論	
歴史			自然地理学	(地球学類開設) ○地形学○水文科学○環境動態解析学氷河凍土学地生態学海洋学水環境リモートセンシング水土環境動態論	下線3科目 から1科目 選択必修
	地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ②地誌学 経済地域論 観光地域論 世界地誌 I・Ⅲ・Ⅲ・Ⅳ	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ②の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類 (中学校一種·理科) (平成31(R1)年度以降入学者用)

免	免許法に規定	 する科目			
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校		(MIRY 1 ALL 1 284)	
	物理学	1以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説	
	生物学	1以上	生物学	(物理・化学・工学システム・生物学類開設) ◎生物学序説	
理	地学	1以上	地学	(地球学科学 A, B, ®) ® ® 動・学 A, B, ® ® 動・学 A, B, ® ® 動・学 A, B, ® を B 地球 知学 A, B, B, 地地 大 史 層 学・ A, B, B, 世地 求 分 学・ A, B, B, 世地 求 子 学 源 A, B, 上 地 地 大 史 層 学 変 A, B, 以 上 気 象 戻 と B 別 以 大 気 象 戻 と B 別 以 大 気 象 戻 と ア マ テ ア テ ア テ ア テ ア テ ア テ ア テ ア テ ア ア ア ア	
	物理学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1以上	物理学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1以上	化学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	11 = 1 11 11 11 11	
科	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ⑥生物学実験	
	地 学 実 験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(地球学類開設) ◎地球学実験, 地質学基礎野外実験 I・Ⅱ, 地質学野外実験 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ, 国際地質学総合野外実験 A・B, 大気科学実験 A・B, 大気科学野外実験, 水文科学野外実験, 水文科学野外実験, 地形学野外実験 A・B,	
	合 計 (中学一種)	2 0		/	

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類 (中学校一種・理科) (平成30年度以前入学者用)

春生修年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	免許	免許法に規定	する科目			
特理学	教		最低修得単位数	区 分		備考
(世界) 1以上 (世界) (地球学類開設) (地球学和各) (地球学名) (地球学子。15年的学人。B. 地球学子。15年的学人。B. 地球学子、方文的学人。 (地球学学人。15年的学人。 (地球学习中期宣法) (地球产生、文学、	科	専門的事項	中学校			
生物学		物理学	1以上	物理学	◎物理学序説	
地学		化学	1以上	化学	◎化学序説	
中国		生物学	1以上	生物学		
	理	地学	1以上	地学	◎生物変動・発 A, B, ◎地球発学 A, B, ◎地球球物学 A, B, ◎地球球科学 A, B, 地地気科学・古生物学 A, B, 地地球学 A, B, 地地球で学 A, B, 地地球で学 A, B, 地地球で学 A, B, 地地ボで学 A, B, 地地ボージを A, B, 地域で A, B, 地域で A, B, 地域で A, B, 地域で A, B, 地域で A, B, が上気象学、ステット 、大気象候圏圏水水プロセマスを が、大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大気を が、大大ので、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	
科 ビュータ活用を含む。) セ物学実験(コンピュータ活用を含む。) 1以上 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) (生物学類開設)・②生物学実験 世ュータ活用を含む。) 地学実験(コンピュータ活用を含む。) (地球学類開設)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ピュータ活用を含	1以上	ピュータ活用を		
P		ピュータ活用を含	1以上	ピュータ活用を		
地 学 実 験 (コン ピュータ活用を含む。) 地 学 実験 (コン ピュータ活用を含む。) 地 賞 学 基礎野外 実験 I・Ⅱ, 地質学 野外 実験 I・Ⅲ・Ⅳ, 地層学 実験, 地中学・古生物学 実験, 地球変 源科学 実験, 地球変 源科学 実験, 地球変 源科学 実験, 地球変 源科学 実験, 地球資質学総合野外 実験 A・B, 大気科学野外 実験, 水文科学 実験 A・B, 水文科学 野外 実験, 地形学野外 実験,	4 21	ピュータ活用を含	1以上	ンピュータ活用		
		ピュータ活用を含む。)	1 以上	ピュータ活用を	◎地球学実験, 地質学基礎野外実験 I・Ⅱ, 地質学野外実験 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ, 地層学実験, 地史学・古生物学実験, 岩石学実験, 鉱物学実験, 地球変動科学実験, 地球変動科学実験, 地球資源科学実験, 地球資源科学実験 A・B, 大気科学野外実験 A・B, 大文科学野外実験 A・B, 水文科学野外実験,	
合 計 (中学一種) 2 0			2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類 (高等学校一種·理科) (平成31(R1)年度以降入学者用)

<i>h</i>	免許法に規定	 :する科目			
免許教	教科に関する	最低修得単位数	- 区 分	本学における開設授業科目	備考
科	専門的事項	高等学校		(開設学群・学類)	
	物理学	1以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説	
	生物学	1以上	生物学	(物理・化学・工学システム・生物学類開設) ◎生物学序説	
理	地学	1以上	地学	(地球学型・A, B, ○○世球学科 M, B, ○○世球学科 M, B, ○○世球球科学 A, B, B, 平学 A, B, 上地球、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	
科	「物理学実験(コン含加速のでは、1000円	1以上	物理学実験 (コ用ンを実身 (コ用コ用コ用コ用コ用コ用コカー1コカー1エカ	(物理学類開設) <a>⑨物理学実験 <a>(化学類開設) <a>⑨化学実験 <a>(生物学類開設) <a>⑨生物学実験 <a>(生物学実験 <a>(地球学実験 <a>地質学基礎野外実験 I・II <a>地質学基礎野外実験 I・II <a>地質学財外実験 A・B <a>大気科学野外実験 A・B <a>大気科学野外実験 A・B <a>水文科学男外来験 <a>水文科学野外実験 A・B <a>水文科学野外実験 A・B <a>地形学野外実験 A・B <a>地形学野外実験 A・B <a>地形プロセス実験 A・B <a>世形プロセス実験 A・B	下目科化修
	合 計 (高校一種)	2 0		2222 5 5	

- (注)1. 教科に関する専門的事項の欄中、「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類(高等学校一種・理科)(平成30年度以前入学者用)

免	免許法に規定	する科目			
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校		(Mark 3 H) 3 /M/	
	物理学	1以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説 地球基礎数学・物理学	
	化学	1以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説 地球基礎化学	
	生物学	1以上	生物学	(物理・化学・工学システム・生物学類開設) ◎生物学序説	
理	地学	1以上	地学	(地球学類開設) ◎生物球変動・科学 A, B, ◎地球球動質 A, B, ◎地球球科学 A, B, ・ 世東学 A, B, 地球気子 A, B, 地球気子 A, B, 地球で A, B, 地球で A, B, 地球で A, B, 地球で A, B, 地球で A, B, 地球ので A, B, 地球ので A, B, 地域の 上、 を一、 を一、 を一、 を一、 を一、 を一、 を一、 を一	
科	「物理学実験(コン含物理学実験(コン含物理学実践)のでは、)、は、一条をは、コンのでは、カンピューをできる。)のでは、カンピューをできる。)のでは、カンピューをできる。)のでは、カンピューをできる。	1以上	物理学実験 (コ用ンをは () () () () () () () () () ((生物学類開設)	下目科必修
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類(平成29年度以前入学者対象)

A	免許法に規定す	る科目			
免許教科	教科に関する科目	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	教育に関する行首	中学校			
	日本史及び外国史	1以上	日本史	(人文学類開設) <u>○日本史概説 I -a・I-b・II -a・II-b</u> , 歴史地理学概説-a・-b, 考古学概説-a・-b, 民俗学概説	下線 4 科 目から a・ b と続く 2 科目を選 択必修
			外国史	(人文学類開設) ○中国史概説-a・-b○ヨーロッパ史概説-a・-b○古代西アジア史概説-a・-b先史学概説-a・-b,文化人類学概説	下目科必二4 日科必二4 日科の 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本
社	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(地球学類開設) ②人文地理学, 都市地理学,農村地理学, 地理情報システム(GIS),水文科学, 地形学,堆積プロセス学,斜面プロセス学, 氷河凍土学,地生態学, 地域計画論,海洋学	
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学,経済地域論, 観光地域論,世界地誌 I ・ II ・ III・ IV	
会	「法律学,政治学」	1以いz上	「法律学, 政治 学」	(社会学類開設) ③法学概論, ③民事法概論, ③政治学概論, 民法総則,契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論,物権,担保物権, 親族・相続,刑法総論,刑法各論, 憲法Ⅰ・Ⅱ,商法Ⅰ,会社法Ⅰ・Ⅱ, 国際法Ⅰ,国際組織法,国際安全保障論, 比較政治学,国際政治学	下線は3 科目から 1科目選 択必修
	「社会学,経済学」	1以上	「社会学,経済学」	(社会学類開設)○社会学基礎論,○現代社会論,	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	「哲学,倫理学,宗教学」	1以上	「哲学,倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ○<u>哲学通論-a・-b</u>,○<u>倫理学通論-a・-b</u>,○<u>宗教学通論-a・-b</u>,東洋思想-a・-b	下線は6 科目から 1科目選 択必修
	合 計 (中学一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中、() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 教科に関する科目の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 4. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 数学類

	T			I			
免	免許法に規定	でする科目					
許教	教科に関する	最低修得	身単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	中学校	高等学校				
	代数学	1以上	1以上	代数学	(数学類開設) ◎線形代数Ⅱ・Ⅲ, 線形代数Ⅱ・Ⅲ, 線形代数続論, 代数入門, 代数学ⅠA・ⅠB, 代数学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(数学類開設) ◎トポロジー入門, トポロジーA・B・C, 多様体入門, 微分幾何学		
学	解析学	1以上	1以上	解析学	(理工学群開設) 数学リテラシー1・2 (数学類開設) ②微積分Ⅰ, 微積分Ⅱ・Ⅲ, ベクトル解析と幾何, 微分方程式入門, 関数論, 偏微分方程式, ルベーグ積分, 関数解析, 関数解析,		
	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(数学類開設) ◎数理統計学 I, 数理統計学 II, 確率論 I・II		
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(数学類開設) ◎計算機数学 I, 数理論理学 I		
(🗗	合 計 『学一種,高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 数学類

~ _ _	字群 数字類					
免	免許法に規定で	する科目				
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	高等学校		(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び 情報倫理	(理工学群開設)◎知的財産と技術移転,科学技術倫理(工学システム学類開設)工学システム概論,工学システム原論		
	コンピュータ及び情報処理(実習を含	1以上	コンピュータ 及び情報処理	(数学類開設) 計算機数学Ⅱ		
情	む。)		コンピュータ 及び情報処理 (実習を含む。)	(数学類開設) ◎計算機演習		
	情報システム (実習を含む。)	1以上	情報システム	(数学類開設) 数理論理学Ⅱ		
			情報システム (実習を含 む。)	(情報科学類開設) ◎データベース概論 I		
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1以上	情報通信ネットワーク	(数学類開設) 統計学, 曲面論		
			情報通信ネットワーク(実習を含む。)	(数学類開設) ◎曲面論演習, 統計学演習, 線形代数演習 S 線形代数演習 F		
報	マルチメディア表現 及び技術 (実習を含 む。)	1以上	マルチメディ ア表現及び技 術	(数学類開設) 集合入門		
			マルチメディ ア表現及び技 術 (実習を含 む。)	(数学類開設) ◎集合入門演習		
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (国際総合学類開設) 産業・組織心理学		
	合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。

理工学群 物理学類 (平成31(R1)年度以降入学者用)

免	免許法に規矩	定する科目				
許教	教科に関する	最低修得	身単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
数	代数学	1以上	1以上	代数学	(理工学群開設)◎数学リテラシー1・2(物理学類開設)◎計算物理学3(数学類開設)代数入門線形代数続論	下線3科目 から1科目 選択必修
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	 (数学類開設) ○ トポロジー入門 トポロジーA・B・C, 多様体入門 微分幾何学 (物理学類開設) ○ 一般相対性理論 	下線2科目から1科目 選択必修
学	解析学	1以上	1以上	解析学	(物理学類開設) ◎物理数学 I 物理数学 II	
	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(物理学類開設) ◎統計力学 1 ◎統計力学 2	1 科目選択必修
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(物理学類開設) ◎計算物理学 I ◎計算物理学 II	1 科目選択必修
(🗗	合 計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

⁽注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。

^{2.} 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 物理学類 (平成30年度以前入学者用)

	子奸 102至于及(1)	70017		н 713 7		
免	免許法に規定	定する科目				
許教	教科に関する	最低修得	身単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
数	代数学	1以上	1以上	代数学	 (理工学群開設) ③数学リテラシー1・2 (物理学類開設) ③計算物理学3 ③連続体力学 ③流体力学 (数学類開設) 代数入門 線形代数続論 	下線5科目 から1科目 選択必修
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(数学類開設) ◎ トポロジー入門 トポロジーA・B・C, 多様体入門 微分幾何学 (物理学類開設) ◎一般相対性理論	下線2科目 から1科目 選択必修
学	解析学	1以上	1以上	解析学	(物理学類開設) ◎物理数学 I ◎物理数学 II	1 科目選択必修
	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(物理学類開設) ◎統計力学1 ◎統計力学2	1 科目選択必修
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(物理学類開設) ◎計算物理学 I ◎計算物理学 II	1 科目選択必修
(合計 (中学一種,高校一 種)	2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 物理学類(中学校一種・理科)

	于奸 彻廷于规(中·	于12 12 417	,		1
免	免許法に規定	する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校			
理	物理学	1以上	物理学	(③③ ・ 大学学の ・ 大学学の ・ 大学学の ・ 大学学の ・ 大学学の ・ 大学学の ・ 大学学がママ物を ・ 大学学がママ物を ・ 大学学がママ物を ・ 大学学がママ物を ・ 大学学がママを ・ 大学学学ができた。 ・ 世理理学学学の ・ 世理理学学学の ・ 世理理学学学での ・ 世理理学学学での ・ 世報学学概に ・ 論論 ・ は、 ・	下線2科目から1科目選択必修
	化学	1 以上	化学	(化学類開設)◎化学 1化学 2化学 3	
	生物学	1 以上	生物学	(物理学類開設) ◎生物物理科学 ◎生物学序説	1 科 目 選 択 必修
	地学	1以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
科	物理学実験 (コンピュータ活 用を含む。)	1以上	物理学実験 (コンピュータ 活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験 I 物理学実験 3	
	化 学 実 験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	化学実験 (コンピュータ 活用を含む。)	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	生物学実験(コ ンピュータ活用 を含む。)		
	地 学 実 験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上	地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
	合 計 (中学一種)	2 0			

⁽注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。

^{2.} 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 物理学類(高等学校一種・理科)

<u> </u>	字群 物理字類(高	う 寺 学 校 一 裡 ・ i	生 174 /		
免	免許法に規定	する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校			
理	物理学	1以上	物理学	(○○○ ・ 大学学学 が で で で で で で で で で で で で で で で で で	下線2科目 から1科目 選択必修
	化学	1 以上	化学	(化学類開設)◎化学 1化学 2化学 3	
	生物学	1 以上	生物学	(物理学類開設) ◎生物物理科学 ◎生物学序説	1科目選択 必修
	地学	1以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験	1以上	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)		
	(コンピュータ活 用を含む。)、生物 学 実 験 (コン ピュータ活用を含		化学実験(コン ピュータ活用を 含む。)		
	む。)、地学実験(コンピュータ活用を 含む。)」		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)		
			地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 化学類 (中学校一種・理科) (平成31(R1)年度以降入学者用)

免	免許法に規定	する科目			
許教科	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 中学校	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	物理学	1以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1・2・3 ◎電磁気学1・2・3	下線3科目 から1科必 投びこ 線3科目 が3科目 が61科目 選択必修
理	化学	1以上	化学	(化学類開設) ②無機化学 I ③分物理化学 I・Ⅱ ③有機化学 I・Ⅱ ③有機化学 II・Ⅲ 物推化学 II・III 物機化学 II・IV 有機化学 III・IV 有機化学 III・IV 有機化学 III・IV 有機化学 III・IV 生物化化学 III 放射算化学 A 書講読 専門化学外書講読	
	生物学	1以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(化学類開設) ◎地学序説	
科	物理学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	物理学実験(コンピュータ活用 を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	地学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	

理工学群 化学類 (中学校一種・理科) (平成30年度以前入学者用)

免	免許法に規定	 :する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校		(7,000,000,000,000,000,000,000,000,000,0	
	物理学	1以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1・2・3 ◎電磁気学1・2・3	下線3科目 から1科が 現び 級3科科 で線3科科 から1科 選択必修
理	化学	1以上	化学	(化学類開設) ③無機化学 I ③分析化学,分析化学 A・B ③物理化学 I・Ⅱ, 1A・1B・2A・2B ③有機化学 I・Ⅱ ⑤生物化学 無機化学Ⅲ・Ⅲ 物理化学Ⅲ・Ⅳ,3A・3B・4 有機化学Ⅲ・Ⅳ 生物化学Ⅲ・Ⅳ 生物化学Ⅱ 放射化学 計算化学, 基礎化学外書講読 専門化学外書講読	
	生物学	1以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(化学類開設) ◎地学序説	
科	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	物理学実験(コンピュータ活用 を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1以上	化学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地 学 実 験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
	合 計 (中学一種)	2 0			

⁽注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 本学における開設授業科目の欄中,②の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 化学類 (高等学校一種·理科) (平成31(R1)年度以降入学者用)

	免許法に規定	オス利日				
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	中学校		(開放子件・子規)		
	物理学	1以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1・2・3 ◎電磁気学1・2・3	下目科必二3ら選線か目修重科1択	ら選及下目科の選及下目科
理	化学	1以上	化学	(化学類開設) ◎無機化学 I ◎分物理化学 I・Ⅱ ◎分神理化学 I・Ⅱ ◎有機化学 II・Ⅲ 物有機化学 II・III 物理化学 III・IV 有機化学 III・IV 有機化学 III・IV 有機化学 III 物別化学 III 放射化学 II 放射化学, 計算化学, 基礎門化学外書講読		
	生物学	1以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学序説		
	地学	1以上	地学	(化学類開設) ◎地学序説		
科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験		
	(コンピュータ活用を含む。)、生物学 実験 (コンピュータ活用を含む。) (コンピュータ活用を含		化学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(化学類開設) ◎化学実験		
	む。)、地学実験(コンピュータ活用を 含む。)」		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎生物学実験		
			地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験		
	合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 化学類 (高等学校一種・理科) (平成30年度以前入学者用)

免	免許法に規定	 する科目				
許教	教科に関する	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	中学校				
	物理学	1以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1・2・3 ◎電磁気学1・2・3	下目科必二3ら選線か目修重科1択	ら選及下目科の場か目
理	化学	1 以上	化学	(化学類開設) ②無機化学 I ③分析化学,分析化学 A・B ③物理化学 I・Ⅱ, 1A・1B・2A・2B ③有機化学 I・Ⅱ ②生物化学 無機化学 II・Ⅲ 物理化学 II・III 物理化学 III・IV 生物化学 III・IV 生物化学 II ・IV 生物化学 II ・ IV 上物・ II ・ IV 基礎化学外書講読 専門化学外書講読		
	生物学	1以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学序説		
	地学	1以上	地学	(化学類開設) ◎地学序説		
科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験		
	(コンピュータ活用を含む。)、生物学 実験 (コンピュータ活用を含む。) (コンピュータ活用を含		化学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(化学類開設) ◎化学実験		
	む。)、地学実験(コンピュータ活用を 含む。)」		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎生物学実験		
			地学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験		
	合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類

-	子群 心用垤工子短					
免	免許法に規定	でする科目				
許教	教科に関する	最低修得	身単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
	代数学	1以上	1以上	代数学	(応用理工学類開設) ◎ <u>線形代数A・B・Ⅱ</u> , 応用数学Ⅰ・Ⅱ	下線3科 目か選 科 修
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(応用理工学類開設) ◎解析学B, 解析学C	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(応用理工学類開設) ◎解析学A, 解析力学B, 解析力学A	
	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(応用理工学類開設) ◎確率論 ◎統計学 統計力学Ⅰ・Ⅱ	
学	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(応用理工学類開設) ③応用理工学情報処理, 計算機実習, デジ程回路, 集積回路工学, 電気回路, でプログ電子回路 (工学システム学類開設) プログラミング序論 C, データ構造とアルゴリズム	
(‡	合 計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類(中学校一種・理科)

全 免許法に規定する科目 教科に関する 専門的事項 反 本学における開設授業科目 (開設学群・学類) 備 考 物理学 1以上 物理学 (応用理工学類開設) (多力学A、電磁気学A・B・ 最全力A)・B、 最全力A)・B、 最全力A・B・開設) (が上でサールデ・、 一型を対する場合・ 一型を対する場合を対する場合を対する場合を対する。 (応用理工学額開設) (が上でA・B・ 高合分子化学、 電気化電子・ ・ 大物性工学 (応用理工学額開設) (が上述 A・B・ 高合分子化学、 電気化電子・ ・ 電気化電子・ ・ 電気化電子・ ・ では、中では、A・B・ 高合分子化学、 電気化電子・ ・ 電気化電子・ ・ では、中では、A・B・ 高の分子化学、 電気化電子A・B・ 高の分子化学、 電気化電子・ ・ 電子のよりに のと物理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (空に用理工化学実験 合む。) (応用理工学類開設) (応用理工化学実験 (コンピュータ活用を含む。) 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 1以上 (土物学実験 (コンピュータ活用を含む。) (生物学実験 (コンピュータ活 (コンピュータ活 (コンピュータ活 (コンピュータ活 (コンピュータ活 (コンピュータ活 (コンピュータ活 (コンピュータ活 (コンピュータ活 (土物学実験) (土物学実験 (コンピュータ活 (土物学実験) (土物学実験 (コンピュータ活 (土物学実験) (土物学実験 (コンピュータ活 (土物学実験) (土物学実験 (コンピュータ活 (土地学実験) (1) (地質学基礎野外実験) 1.1 1.1 地学実験 (型等学基礎野外実験) 1.1 1.1 地質学基礎野外実験 1.1 1.1 地質学基礎野外実験 1.1 1.1 地質学基礎野外実験 1.1 地質学基礎野外実験 1.1 1.1 地質学基礎野外実験 1.1 地質学基礎野外実験 1.1 地質学基礎野外実験 1.1 地質学基礎野外工具 地質学基礎野外工具 地質学基礎野外工具 地質学基礎野外工具 地質学基礎野外工具 地質学基礎野外工具 地質学基礎野外工具 地質学基礎野工具 地質学基礎野工具 地質学基礎野工具 地質学工具 地質学工具 地質学工具 地質学工具			2 類 (中字校一位			1
数科に関する 専門的事項	免	免許法に規定	定する科目			
科 専門的事項 中学校 物理学 (応用理工学類開設) (応用型工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (応用理工学類開設) (小学 A・B・M M A・B・M M M M M M M M M M M M M M M M M M M	許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分		備考
図の		専門的事項	中学校		(1948)	
理		物理学	1以上	物理学	 ○力学A, 電磁気学A・B, 量子力学I・Ⅱ・Ⅲ, 熱力学, 固体物理学A・B, 物理計測, 光学, プラズ語晶学, 回折結晶学, 	
開設のいずれか) ②生物学序説 (応用理工学類開設) 分子工学概論。 生命科学A・B 地学 物理学実験 (コンピュータ活用を含む。) 化学実験 (コンピュータ活用を含む。) 化学実験 (コンピュータ活用を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) セ物学実験 (コンピュータ活用を含む。) ・ (生物学類開設) ・ (コンピュータ活用を含む。) ・ (コンピュータ活用を含む。) ・ (コンピュータ活用を含む。) ・ (コンピュータ活用を含む。) ・ (コンピュータ活用を含む。) ・ (世球学類開設) ・ (コンピュータ活用を含む。)	理	化学	1以上	化学	◎化学A・B・ⅢA・ⅢB, 有機化学A・B, 高分子化学, 電気化学,	から1科目
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)		生物学	1以上	生物学	開設のいずれか) ◎生物学序説 (応用理工学類開設) 分子工学概論,	
A		地学	1以上	地学		
ピュータ活用を含む。) ンピュータ活	科	ンピュータ活用	1以上	(コンピュー タ活用を含		
ンピュータ活用を含む。) タ活用を含む。) 地学実験(コンピュータ活用を (地球学類開設) ピュータ活用を ンピュータ活 〇世学家族大学		ピュータ活用を	1以上	ンピュータ活		
ピュータ活用を ンピュータ活 ◎地学実験,		ンピュータ活用	1以上	(コンピュー タ活用を含		
		ピュータ活用を	1以上	ンピュータ活	◎地学実験,	
合 計 (中学一種) 2 0			2 0			

⁽注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 本学における開設授業科目の欄中,◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類(高等学校一種・理科)

免	免許法に規定	定する科目	11 42 147		
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校		(1188 1 11 1 387)	
理	物理学	1以上	物理学	(応用理工学類開設) ⑤ 大名, 電子A・B, 電子力学 I・Ⅱ・Ⅲ, 熱力学, 固体物理学A・B, 物理計測, 光学, ザブズ結型 デーラ新結工学, 光物性工学	
理	化学	1以上	化学	(応用理工学類開設) ◎ 化学 A・B・Ⅲ A・Ⅲ B, 有機化学 A・B, 高分子化学, 電気化学, 有機電子論	下線 4 科目 から 1 科目 選択必修
	生物学	1以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・エシス開設のいずれか) ⑤生物学序説 (応用理工学類開設) 分子工学概論, 生命科学A・B	
	地学	1以上	地学	(応用理工学類開設) ◎地学序説	
科	「(活化ピ含実ピ含験タむ、ンを学ンを実一)のコ用物コ用学ュむのは活生のであるが、 ターのコ 活力の アンカーの アンカー アンを学ンを実一含い アンを学ンを実一含い アンを学ンを実一含い アンを学いを実一含い アン・アンを学いを実一含い アン・アンを学いを実一含い アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	1以上	ピュータ活 用を含む。) 化学実験(コ	(応用理工学類開設) ◎応用理工物理学実験 (応用理工学類開設) ◎応用理工学類開設) ◎応用理工化学実験	下線2科目 から1科目 選択必修
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中, ②の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類 (平成30年度以前入学者対象)

免	免許法に規定す	ナる科目					
免許教科	教科に関する科目	最低修得単位数 高等学校	区	分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
エ	工業の関係科目	1以上	工業の関係	系科目	(応用理工学類開設) 応用理工学実験A・B, 基礎実験学, 光エレクトロニクス, ◎計測・制御工学, 半導体電子工学, 結晶性体工学, 結性体工学, 調体物理学特論, 凝縮材料工学, 短縮材料工学, 先端科学・工学概論, 情報通信工学, 情報動性工学, 表面・関		
業	職業指導	1以上	職業指導		表面・界面工学, 触媒・工業化学, 生物工学, 機器分光分析, 計測実験学, グリーンエレクトロニクス, 材料物性工学概論, 基礎有機化学, 応用物理専攻実験A・B, 電子・量子工学専攻実験A・B, 物性工学専攻実験A・B, 物質・分子工学専攻実験A・B		
	合 計 (高校一種)	2 0					

⁽注)本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 工学システム学類

免	免許法に規定する科目							
許教	教科に関する	最低修得単位数		区 分	分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	中学校	高等学校					
	代数学	1以上	1以上	代数学		(工学システム学類開設) ◎線形代数 A, 応用数学 A・B		
	幾何学	1以上	1以上	幾何学		(工学システム学類開設) ◎線形代数総論 B		
数	解析学	1以上	1以上	解析学		(工学システム学類開設)◎解析学総論,常微分方程式,複素解析		
	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論, 約学」	統計	(工学システム学類開設) ◎確率統計, 信頼性工学		
学	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	A	(工学システム学類開設) ◎プログラミング序論 C, データ構造とアルゴリズム, ヒューマンインタフェース, 知的情報処理, ディジタル信号処理, 応用プログラミング		
(=	合 計中学一種,高校一種)	2 0	2 0					

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 3.令和元年度以前に線形代数A(工学システム学類開設)を修得済みの者にあっては、当該科目を区分「代数学」の必修科目とすることができる。

理工学群 工学システム学類 (中学校一種・理科)

免	免許法に規定	 する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校			
理	物理学	1以上	物理学	(工学学類開設) ②力学経気学 の電気力学経気回路 の割力学を の割力学を の対理を の対理を の対理を が対する が対する が対する が対する が対する が対する が対する が対する が対する が対する が対する がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、	下線2科目 から1科目 選択必修
	化学	1以上	化学	(理工学群開設)◎化学1・2・3(3科目セット)(工学システム学類開設)燃焼工学,物理化学概論	
	生物学	1以上	生物学	(工学システム学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(工学システム学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)		下線2科目 から1科目 選択必修
科	化 学 実 験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上	化学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(応用理工学類開設) ◎応用理工化学実験	
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)		
	地 学 実 験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験, 地質学基礎野外実験 I・Ⅱ	
	合 計 (中学一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 工学システム学類 (高等学校一種・理科)

免	免許法に規定	する科目			
先 許 教 科	教科に関する	最低修得単位 数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
件	専門的事項	高等学校			
理	物理学	1以上	物理学	(工学システム学類開設) ② 電気分離。 ② 電気力学経気回路を ② 熱力学素の ② 恵力学を がおりまで、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	下線2科目 から1科目 選択必修
	化学	1以上	化学	(理工学群開設)◎化学1・2・3(3科目セット)(工学システム学類開設)燃焼工学,物理化学概論	
	生物学	1以上	生物学	(工学システム学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(工学システム学類開設) ◎地学序説	
	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コ	1 以上	物理学実験 (コ ンピュータ活用 を含む。)		下線2科目 から1科目 選択必修
科	ンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用		化学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(応用理工学類開設) ◎応用理工化学実験	
	用を含む。)、地学実 験(コンピュータ活 用を含む。)」		生物学実験(コ ンピュータ活用 を含む。)		
			地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)		
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 工学システム学類

	- 子杆 エチノヘノム-	1 78			
免	免許法に規定で	する科目			
許教科	教科に関する 専門的事項	最低修得単位 数 高等学校	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び 情報倫理	(理工学群開設) 知的財産と技術移転, 科学技術倫理 (工学システム学類開設) ◎工学者のための倫理, 研究・開発原論	
情	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ 及び情報処理	 (工学システム学類開設) 計測工学, ③コンピュータとネットワーク, ③フィードバック制御, 電子回路, 論理回路, 離散数学, 人工知能, 環境リモートセンシング 	下線2科目 から1科目 選択必修
			コンピュータ 及び情報処理 (実習を含 む。)	(工学システム学類開設) プログラミング序論 A・B・D	
	情報システム (実習 を含む。)	1以上	情報システム 情報システム (実習を含む。)	(工学システム学類開設) ◎情報理論 (情報科学類開設) データベース概論Ⅰ	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1以上	情報通信ネットワーク 情報通信ネッ	(工学システム学類開設) 通信工学, ◎情報通信システム論Ⅰ・Ⅱ (工学システム学類開設)	下線2科目 から1科目 選択必修
報	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上	トワーク(実習を含む。) マルチメディア表現及び技術	数値解析, 数値計算法 (工学システム学類開設) ◎画像処理, パターン認識	
				(工学システム学類開設) 知的・機能工学システム実験	
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (工学システム学類開設) 産業技術論 I・Ⅱ	
	合 計 (高校一種)	2 0			
()()	\	明めまるの期中	/ \ - - -	はリギヘルマ版用しかけんばれされい	

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中,◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 工学システム学類

	免許法に規定する科目				
免許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校		(加展于研 于规/	
工業	工業の関係科目	1以上	工業の関係科目	(○) 環境によりである。 (○) 環境原理 () () () () () () () () () (下か選及下か選と科が選別である。 1 単一 1 目 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	職業指導	1以上	職業指導	(教職科目その他開設) ◎職業指導	
	合 計 (高校一種)	2 0			

⁽注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 社会工学類 (令和2年度以降入学者対象)

	7 = 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	* F 4 V D					
免	免許法に規定	する科目					
許教	教科に関する	最低修得単位数		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	中学校	高等学 校		(河以丁4十 丁秋)		
	代数学	1以上	1以上	代数学	(理工学群開設) ◎線形代数1 線形代数2 線形代数3		
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(社会工学類開設) ◎数理最適化法 都市解析 データ解析		
	解析学	1以上	1以上	解析学	(理工学群開設) ◎微積分1 微積分2 微積分3		
学	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(社会工学類開設) ◎統計学 応用確率論		
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(社会工学類開設) ◎計算機科学 情報ネットワーク シミュレーション		
(🖯	合 計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

	:::	(23年度以前八十	11 7·1 30·7			
免	免許法に規定す	ト る 科目				
免許教	教科に関する科目	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	秋何(C) 第 5 7 1 1	中学校				
	日本史及び外国史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論		
社			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (国際総合学類開設) 国際関係史序説 (社会工学類開設) 都市計画の歴史		
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学(地誌を 含む。)	(社会工学類開設) ◎都市緑地計画		
	「法律学,政治学」	1以上	「法律学, 政治 学」	(社会学類開設) ◎法学概論 (国際総合学類開設) 比較政治学, 国際政治学, 国際機構論, 国際相互依存論, 国際政治経済学, 国際法概論, 国際法 I, 国際組織法, 日本政治, 現代日本外交史		
会	「社会学,経済学」	1以上	「社会学, 経済 学」	(社会工学類開設) ◎ <u>ミクロ経済学</u> , ◎ <u>マクロ経済学</u> , 公共システム演習, 計量分析システム演習, 戦略行動システム演習, 計量経済学,金融論,財政学,日本経済論, 公共経済学,経済動学, 国際金融論,国際開発論, マクロ計量分析,金融リスク管理論, ゲーム論,進化ゲーム論,意思決定論, 経済行動論,計量時系列分析, 都市経済学, 政策・公共事業評価, 地域経営・行政論	下2か科択 択 の おり の の の の の の の の の の の の の の の の の	目 1 選
	「哲学,倫理学,宗教 学」	1以上	「哲学,倫理 学,宗教学」	(全学群対象) ②哲学通論AI・AⅡ、又は CI・CⅡ、又は DI・DⅡ 哲学通論AI,CI,DIは同一科目 哲学通論AⅡ,CⅡ,DⅢは同一科目		
	合 計 (中学一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 教科に関する科目の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

免	免許法に規定す	片る科目			
免許教	# A)	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	教科に関する科目	高等学校		(DIBA) AT 1 3987	
	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政		法律学	(社会学類開設) ◎法学概論	
	治を含む。)」		国際法	(国際総合学類開設) ◎ <u>国際法概論</u> ,国際法 I ◎ <u>国際組織法</u>	下 2 か 科 ら 目 選 択 必 軽 終 料 の 目 後 終 り の り り り り り り り り り り り り り り り り り
			政治学	(国際総合学類開設) 比較政治学,日本政治, 現代日本外交史	1 科 目 選 択 必 修
公			国際政治	(国際総合学類開設) 国際政治学,国際機構論, 国際相互依存論,国際政治経済学	
民	「社会学,経済学(国際経済を含む。)」	1以上	経済学	(社会工学類開設) ◎ミクロ経済学, ◎マクロ経済学, 文化行動論, 公共システム演習, 計量分析システム演習, 戦略行動システム演習, 計量経済学,金融論,財政学,日本経済論, 公共経済学,経済動学, マクロ計量分析,金融リスク管理論, ゲーム論,進化ゲーム論, 意思決定論,経済行動論, 計量時系列分析, 地域経営・行政論, 都市経済学, 政策・公共事業評価	下2か科択 と
			国際経済	(社会工学類開設) ◎国際金融論, ◎国際開発論	下 2 か 1 科 ら 日 選 択 必 目 修
	「哲学,倫理学,宗教 学,心理学」	1以上	「哲学,倫理 学,宗教学」	(全学群対象) ⑤哲学通論A I · A II 、又は C I · C II 、又は D I · D II 哲学通論A I , C I , D I は同一科目 哲学通論A II , C II , D II は同一科目	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中、() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 - 4. 「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び国際法」,区分「政治学及び 国際政治」のいずれかを最低限修得すること。
 - 5. 「社会学,経済学(国際経済含む。)」は、区分「経済学及び国際経済」を最低限修得すること。

免	免許法に規定する科目						
免許教	教科に関する科目	最低修得単位数		区	分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	数付に戻り 3行日	中学校	高等学校				
数	代数学	1以上	1以上	代数学		(社会工学類開設) ◎数学リテラシー1と線形代数1, ◎線形代数2と線形代数3, 数理最適化法, 数理工学モデル化実習	下 つ 1 選修
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学		(情報科学類開設) ◎コンピュータグラフィックス基礎	
	解析学	1以上	1以上	解析学		(社会工学類開設) <u> ◎数学リテラシー2と微積分1,</u> <u> ◎微積分2と微積分3,</u> 都市解析	下 つ 1 選修 修 が つ 択
学	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論, 养	統計学」	(社会工学類開設) ◎統計学, 数理統計学, 応用確率論, 生産・品質管理	
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュー	·A	(社会工学類開設)◎<u>データ解析</u>,◎<u>ファイナンス</u>,	下 科 ら 1 選 形 終 8 が 4 以 終 8 り 8 り 8 り 8 り 8 り 8 り 8 り 8 り 8 り 8
(合 計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

免	免許法に規定す	する科目				
免許教	歩む)と問うさむ口	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教科に関する科目	高等学校				
	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び情 報倫理	(理工学群開設) 知的財産と技術移転 ◎科学技術倫理		
	コンピュータ及び情報 処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ及 び情報処理	(情報科学類開設) 計算機アーキテクチャ		
情			コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	(社会工学類開設) ◎計算機科学 都市環境評価論, 地域科学演習 プログラミング実習		
	情報システム (実習を 含む。)	1以上	情報システム	(社会工学類開設) マーケティング		
			情 報 システ ム (実習を含む。)	(社会工学類開設) ◎経営情報システム, 社会調査実習 (情報科学類開設) データベース概論Ⅰ		
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1以上	情報通信ネット ワーク	(社会工学類開設) ◎応用確率過程		
			情報通信ネット ワーク (実習を 含む。)	(社会工学類開設)◎情報ネットワーク,情報技術実験		
	マルチメディア表現及 び技術(実習を含	1以上	マルチメディア 表現及び技術	(社会工学類開設) ◎空間デザイン論		
le.	tr.)		マルチメディア 表 現 及 び 技 術 (実習を含む。)	(社会工学類開設) シミュレーション, 都市計画情報実習		
報	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (国際総合学類開設) 産業・組織心理学 (社会工学類開設) マネジメント演習, 経営工学概論		
	合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する科目の欄中、○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報科学類

免	免許法に規定	ごする科目				
許教	教科に関する	最低修得単位数		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
	代数学	1以上	1以上	代数学	(情報科学類開設) ◎線形代数B, コンピュータ数学, 離散構造	
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報科学類開設) ◎コンピュータグラフィックス基礎, インタラクティブ CG	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(情報科学類開設) ◎微分積分学, 微分積分C, 数値計算法, 数理メディア情報学, 複素関数論	
	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(情報科学類開設) ◎確率・統計, 情報理論	
学	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	論理と形式化,	下線2科目 から1科目 選択必修
(🖯	合 計 □学一種,高校一種)	2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報科学類

IH FIX	子群 情報科子類				
免	免許法に規定す	 する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校			
	情報社会及び情報倫 理	1 以上	情報社会及び 情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論	
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ 及び情報処理	(情報科学類開設)論理システム,計算機アーキテクチャ,VLSI 工学,オペレーティングシステム,電子回路	
情			コンピュータ 及び情報処理 (実習を含む。)	(情報科学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, データ構造とアルゴリズム実験, 論理回路, 論理回路実験, 論理システム実験, プログラム言語処理	
	情報システム (実習を含む。)	1以上	情報システム	(情報科学類開設) ソフトウェア工学, データベース概論 Ⅱ	
			情報システム(実習を含む。)	(情報科学類開設) ◎データベース概論 I	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1 以上	情報通信ネッ トワーク	(情報科学類開設) 分散システム, 情報セキュリティ	
			情報通信ネットワーク(実習 を含む。)	(情報科学類開設)◎コンピュータネットワーク,◎システムプログラム	1科目選 択必修
報	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上	マルチメディ ア表現及び技 術	(情報科学類開設) 自然言語処理, ◎ヒューマンインタフェース, 視覚情報科学 音声聴覚情報処理	
			マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	(情報科学類開設) 画像メディア工学	
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (情報科学類開設) インターンシップⅠ・Ⅱ	
	合 計 (高校一種)	2 0			
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中,○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類 [令和元(2019)年度以降入学者対象]

免	免許法に規定	でする科目				
許教	教科に関する	最低修得	导単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
	代数学	1以上	1以上	代数学	(情報学群開設) ○線形代数A,○情報数学A(情報メディア創成学類開設)○線形代数B,○情報数学Ⅳ,情報数学B	下線4科目 から1科目 選択必修
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎ CG 基礎, インタラクティブ CG 情報数学 C	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(情報学群開設) ○微分積分A,(情報メディア創成学類開設)○微分積分B,信号とシステム	下線2科目 から1科目 選択必修
学	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(情報メディア創成学類開設) ◎ <u>確率と統計</u> , ◎ <u>統計分析法</u> , 情報理論	下線2科目 から1科目 選択必修
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(情報メディア創成学類開設) ◎プログラミング,情報メディア実験 A, B,システム数理 I, III, III,知識・自然言語処理,パターン認識,情報可視化	
(中	合 計 中学一種,高校一種)	2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,「」のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類 〔平成30(2018)年度以前入学者対象〕

	7 = h \\	ナトッかロ				
免	免許法に規定	する科目				
許教	教科に関する	最低修得	导単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
	代数学	1以上	1以上	代数学	(情報メディア創成学類開設) ◎線形代数 I · II, ◎情報数学 I · IV, 情報数学 B	下線4科目 から1科目 選択必修
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎ CG 基礎, インタラクティブ CG, 情報数学 C	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(情報メディア創成学類開設) ◎ <u>解析 I ・ II</u> , 信号とシステム	下線2科目 から1科目 選択必修
	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(情報メディア創成学類開設) ◎確率と統計, ◎統計分析法, 情報理論	下線2科目 から1科目 選択必修
学	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(情報メディア創成学類開設) ◎プログラミング IA, IB,◎プログラミング実習 IA, IB,情報メディア実験 A, B,システム数理 I, II, III,知識・自然言語処理,パターン認識,情報可視化	下線4科目 から1科目 選択必修
	合 計 (中学一種,高校一 種)	2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類 [令和元(2019)年度以降入学者対象]

報報社会及び情報倫						
数料に関する 専門的事項 高等学校 情報社会及び情報倫	免	免許法に規定	する科目			
情報社会及び情報倫理	教	教科に関する	最低修得単位数	区 分		備考
情報倫理	科	専門的事項	高等学校			
一			1以上			下線2科目
おおいけ		建		TF 教 TH 工生		選択必修
コンピュータ及び情報の理 (情報メディア創成学類開設) コンピュータシステムと 08, ブータ構造とアルゴリズム コンピュータ 人で情報処理 (情報学群開設) の (情報学群開設) の (情報学群開設) の (情報学者・1 対 (情報学者・1 対 大 大 変 習 を含む。)						
報処理 (実習を含む。)		コンピュータ及び情	1 D.J. H	コンピュータ		
インピュータ 及び情報処理 (情報学群開設) (情報学 2 アータ構造とアルゴリズム (情報学群開設) で 1 以上 (情報システム (情報メディア創成学類開設) データ構造とアルゴリズム実習 (情報メディア創成学類開設) データ構造とアルゴリズム実習 (情報メディア創成学類開設) コンテンツ流通基盤概論, データベースシステム I (情報メディア創成学類開設) ②データ工学概論, データベースシステム I (情報メディア創成学類開設) ネットワーク (実習を含む。) (情報メディア創成学類開設) ネットワーク キャトワーク (実習を含む。) (情報メディア創成学類開設) ネットワーク カー 情報通信ネットワーク (情報メディア組成学類開設) を含む。) マルチメディア表現 (情報メディア創成学類開設) マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。) (情報メディア創成学類開設) 実世界指向システム, 先端技術科学・人間計測の方法 (情報メディア創成学類開設) マルチメディア表現, 視覚情報科学・ア表現及び技術 (実習を含む。) (情報メディア創成学類開設) マークアップ言語、簡(実習を含む。) (情報メディア創成学類開設) マークアップ言語、簡(実習を含む。) (情報メディア創成学類開設) マークアップ言語、簡(実習を含む。) (情報メディアが成学類開設) マークアップ言語、簡(実習を含む。) (情報メディアが成学類開設) マークアップ言語、簡(実習を含む。) (情報メディアが成学類開設) マークアップ言語、簡(実習を含む。) (情報と職業 6番情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報処理,音楽・音響情報と職業		報処理(実習を含	1 0/1		コンピュータシステムと OS,	
コンピュータ (情報学群開設) ②プログラミング入門 (東習を含む。) (東智を含む。) (情報メディア創成学類開設) コンテンツ流通基盤概論, データベースシステム (情報メディア創成学類開設) コンテンツ流通基盤概論, データベースシステム (情報メディア創成学類開設) ②データエ学概論, データベースシステム (情報メディア創成学類開設) ②データエ学概論, 通信ネットワーク 1以上 情報通信ネットワーク 「情報メディア創成学類開設) ネットワークメディア観論, 通信ネ値にプラットフォーム論 情報通信ネットワーク (情報メディア創成学類開設) トワーク (東習を含む。) ②Web プログラミング ②Web プログラミング ②Web プログラミング ②Web プログラミング 表現及び技術 (実習を含む。) (東世界指向システム、先端技術とメディア表現, 視覚情報科学, 人間計測の方法 (東世界指向システム、先端技術とメディア表現, 視覚情報科学, 人間計測の方法 (東世界指向システム、発覚情報科学, 人間計測の方法 (東世界指向システム) (東世界指向システム、表現及び技術 (実習を含む。) (東世界指向システム) (東世界指向システム) (東世界指向システム 東世界指向システム 東世界指向システム 東世界指向システム 東世界指向システム 東世界指向システム 東世界指向システム (東世界指向システム) (東東東指向システム) (東東東指向システム) (東東東指向システム) (東東東指向システム) (東東東指向システム) (東東東指向システム) (東東東指向システム) (東東東指向システム) (東東東指向システム) (東東東東指向システム) (東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東	情	む。)				
(実習を含します。)				コンピュータ		
お。) データ構造とアルゴリズム実習 情報システム (実習を含む。)						
を含む。) おおいか						
マルチメディア表現			1以上	情報システム		
情報システム (情報メディア創成学類開設) (実習を含む。)		を含む。)				
お。)				情報システム		
情報通信ネットワーク (実習を含む。) 1 以上 情報通信ネットワーク (情報メディア創成学類開設) ネットワーク, 情報通信ネットワーク, 情報通信オットワーク, 情報通信オットワーク, 情報通信オットワーク (情報メディア創成学類開設) ②Webプログラミング (情報メディア創成学類開設) 変含む。) マルチメディア表現 び技術 (実習を含む。) マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。) マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。) マルチメディア表現, 視覚情報科学, 人間計測の方法 マークアップ言語, 画像・映像情報処理, 音楽・音響情報処理, ③インタラクションデザイン 情報と職業 (教職科目その他開設) ③情報と職業 (教職科目その他開設) ③情報と職業						
通信ネットワーク, 情報通信プラットフォーム論 情報通信プラットフォーム論 情報通信プラットフォーム論 情報通信プラットフォーム論 (情報メディア創成学類開設) ②Web プログラミング ②Web プログラミング ②Web プログラミング ②Web プログラミング ②Web プログラミング ②Web プログラミング 実世界指向システム, 先端技術とメディア表現, 視覚情報科学, 人間計測の方法 マルチメディ (情報メディア創成学類開設) マークアップ言語, 画像・映像情報処理, 音楽・音響情報処理, 音楽・音響情報処理, ③インタラクションデザイン 情報と職業 1以上 情報と職業 (教職科目その他開設) ③情報と職業 合計 20		情報通信ネットワー	1以上			
情報通信プラットフォーム論 情報通信プラットフォーム論 情報通信ネットワーク(実習を含む。) ②Webプログラミングを含む。) マルチメディア表現及び技術(実習を含む。) マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。) マルチメディア表現, 視覚情報科学, 人間計測の方法 マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。) で表現及び技術 (実習を含む。) でマークアップ言語, 画像・映像情報処理, 資インタラクションデザイン 情報と職業 1以上 情報と職業 (教職科目その他開設) ⑤情報と職業 合計 20		ク (実習を含む。)		トワーク		
トワーク (実習を含む。) マルチメディア表現 及び技術 (実習を含む。) マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。) 報					· ·	
を含む。) マルチメディア表現 及び技術 (実習を含む。) 和 1以上 マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。) マルチメディア表現及び技術とメディア表現, 視覚情報科学, 人間計測の方法 マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。) マルチメディア創成学類開設) マークアップ言語, 画像・映像情報処理, 音楽・音響情報処理, ⑥インタラクションデザイン 情報と職業 1以上 情報と職業 (教職科目その他開設) ◎情報と職業 合計						
及び技術(実習を含む。) でおりので技術 (実習を含む。) でありので技術 (実習を含む。) でありので技術 (実習を含む。) でありので技術 (実習を含む。) でありので技術 (実習を含む。) でありのでは、					○ Web プログラミング	
 ・ 大端技術とメディア表現、 視覚情報科学、 人間計測の方法 マルチメディ (情報メディア創成学類開設) マークアップ言語、 商像・映像情報処理、 ・・ 音響情報処理、 ・・ 音響情報処理、 ・・ (教職科目その他開設) ・ 情報と職業 ・ 自報と職業 			1以上			
報 視覚情報科学、人間計測の方法 マルチメディ (情報メディア創成学類開設) マークアップ言語、 画像・映像情報処理、 音楽・音響情報処理、						
マルチメディアの ア表現及び技 マークアップ言語, 画像・映像情報処理, 音楽・音響情報処理, ②インタラクションデザイン 情報と職業 (教職科目その他開設) ②情報と職業 合 計 2.0	報				視覚情報科学,	
ア表現及び技術(実習を含む。) マークアップ言語, 画像・映像情報処理, 音楽・音響情報処理, ⑥インタラクションデザイン 情報と職業 1以上 情報と職業 (教職科目その他開設) ⑥情報と職業 合計 2.0				フルチィディ		
せ。) 音楽・音響情報処理, ◎インタラクションデザイン 情報と職業 (教職科目その他開設) ◎情報と職業 合 計						
「情報と職業 1以上 情報と職業 (教職科目その他開設) 「情報と職業 (申報と職業					•	
◎情報と職業 合 計 2.0				10 o /		
1		情報と職業	1以上	情報と職業		
		合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中,◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類 〔平成30(2018)年度以前入学者対象〕

免	免許法に規定す	 する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校			
	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び 情報倫理	(情報学群開設) ◎ <u>情報社会と法制度</u> , 知的財産概論 (情報メディア創成学類開設) ◎情報メディア概論	下線2科目 から1科目 選択必修
情	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ 及び情報処理	(情報メディア創成学類開設) プログラミングⅡ, コンピュータシステムと OS, プログラム言語論, データ構造とアルゴリズム	
			コンピュータ 及び情報処理 (実習を含 む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎プログラミング実習Ⅱ, データ構造とアルゴリズム実習	
	情報システム (実習を含む。)	1以上	情報システム	(情報メディア創成学類開設) コンテンツ流通基盤概論, データベースシステムⅡ	
			情報システム (実習を含 む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎データ工学概論, データベースシステム I	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1以上	情報通信ネットワーク	(情報メディア創成学類開設) ネットワークメディア概論, 通信ネットワーク, 情報通信プラットフォーム論	
			情報通信ネットワーク(実習 を含む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎Web プログラミング	
報	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上	マルチメディア表現及び技術	(情報メディア創成学類開設) 実世界指向システム, 先端技術とメディア表現, 視覚情報科学, 人間計測の方法	
			マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) マークアップ言語, 画像・映像情報処理, 音楽・音響情報処理, ◎インタラクションデザイン	
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報 · 図書館学類

אד הו	子杆 邓越用靴 凶				
免	免許法に規定で	する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校			
	日本史及び外国史	1以上	日本史	(比較文化学類開設) ○日本研究概論 I ・ II (2科目セット)(日本語・日本文化学類開設)○共生のための歴史学(知識情報・図書館学類開設)日本図書学	下線2つから1つ選択 必修
社			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, ◎ <u>アジア研究概論</u> (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (知識情報・図書館学類開設) 図書館文化史論	下線2科目 から1科目 選択必修
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学(地誌を含む。)	(地球学類開設) ◎人文地理学, ◎地誌学 (知識情報・図書館学類開設) 教育文化政策	
会	「法律学,政治学」	1 以上	「法律学,政 治学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論 A	
	「社会学,経済学」	1以上	「社会学,経 済学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 経営・組織論	
	「哲学, 倫理学, 宗 教学」	1以上	「哲学, 倫理 学, 宗教学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論	
	合 計 (中学一種)	2 0		スまのけ、各詐版组の際の以終利日な	

⁽注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報·図書館学類

免	免許法に規定	する科目				
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	高等学校				
	「法律学(国際法を 含む。),政治学(国 際政治を含む。)」	1以上	「法律学(国際 法を含む。),政 治学(国際政治 を含む。)」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論A		
公	「社会学,経済学 (国際経済を含 む。)」	1以上	「社会学,経済 学(国際経済を 含む。)」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 経営・組織論		
民	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1以上	「哲学,倫理 学,宗教学, 心理学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論, メディア教育の実践と評価		
	合 計 (高校一種)	2 0				

⁽注)本学における開設授業科目の欄中,◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報 · 図書館学類

	I			1		1
免	免許法に規定	でする科目				
許教	教科に関する	最低修復	寻単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	中学校	高等学校			
	代数学	1以上	1以上	代数学	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報数学B, 情報数学	
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎ CG 基礎, 情報数学 C, インタラクティブ CG	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(情報科学類開設) ◎ <u>微分積分B</u> 数値計算法, 解析学Ⅲ, 複素関数論 (情報メディア創成学類開設) ◎ <u>微分積分B</u>	下線2科目から1科目 跳択必修
学	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(知識情報・図書館学類開設)◎統計,多変量解析,機械学習,データマイニング	
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(知識情報・図書館学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, 知識情報演習Ⅲ	
(🗗	合 計 口学一種,高校一種)	2 0	2 0			

⁽注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報·図書館学類

IH TK	十分 机碱用取 凶智	可以一块			
免	免許法に規定す	する科目			
許教	教科に関する	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	専門的事項	高等学校			-
	情報社会及び情報倫 理	1 以上	情報社会及び 情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論	
情	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ 及び情報処理 (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎プログラミング演習Ⅰ, データ表現と処理, コンピュータシステムとネットワーク	
	情報システム (実習を含む。)	1以上	情報システム (実習を含 む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報検索システム, データベース概説, 自然言語解析基礎	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)		情報通信ネッ トワーク (実 習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設)◎Web プログラミング,クラウドコンピューティング	
報	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)		マルチメディ ア表現及び技 術(実習を含 む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎マルチメディアシステム, ◎プログラミング演習Ⅱ, ディジタルドキュメント, 情報デザインとインタフェース, マークアップ言語	
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (知識情報・図書館学類開設) インターンシップ	
	合 計 (高校一種)	2 0			

⁽注)本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

医学群 看護学類[平成 31 年度(令和元年度)以降入学者用]

	免許法に規定		(人) (人) (人)		
免許教		最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	養護に関する科目	養護教諭		AND THE TOTAL	
	衛生学及び公衆衛生 学(予防医学を含 む。)	4以上	衛生学及び公 衆衛生学(予防 医学を含む。)	(看護学類開設) ◎疫学 ◎保健統計学	予防医学を含む 予防医学を含む
	学校保健	2 以上	学校保健	(看護学類開設) ◎公衆衛生看護学概論 ◎職域における保健活動	
養	養護概説	2 以上	養護概説	(看護学類開設) ◎養護概説 ◎生涯発達と家族支援	
	健康相談活動の理論 及び方法	2以上	健康相談活動 の理論及び方 法	(看護学類開設) ◎心の健康と相談活動 ◎臨床看護学概論	
護	栄養学(食品学を含む。)	2以上	栄養学(食品学を含む。)	(看護学類開設) ◎人体の代謝と栄養 ◎基本看護技術	食品学を含む
	解剖学及び生理学	2 以上	解剖学及び生理学	(看護学類開設) ◎人体構造学 ◎人体機能学 ◎機能形態学演習	
教	「微生物学,免疫学,薬理概論」	2 以上	「微生物学, 免疫学, 薬理 概論」	(看護学類開設) ◎臨床薬理学 (医療科学類開設) ◎微生物学	
諭	精神保健	2 以上	精神保健	(看護学類開設) ◎精神看護学概論 ◎精神看護方法論	
	看護学(臨床実習及 び救急処置を含 む。)	10以上	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	(看護学類開設) ◎基礎看護学概論 ◎基本看護技術演習 ◎ウィメンズへルス看護学概論 ◎母性看護方法論 ◎高齢者看護学概論 ◎疾病の成りたちと回復促進 ◎看護技術実習	
	合 計	2 8			

- (注) 1. 養護に関する科目の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 養護に関する科目の欄中,○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中,◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

医学群 看護学類 (平成30年度以前入学者用)

		,00千及及前八千	1 /		I
免	免許法に規定	する科目			
許教	養護に関する科目	最低修得単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	X IX (CIX) OTT I	養護教諭			
	衛生学及び公衆衛 生学 (予防医学を 含む。)	4以上	衛生学及 で 生学 な の で き な で き さ な 。)	(看護学類開設) 人間環境論 疫学 環境保健学演習 保健統計学	予防医学を含む " 予防医学を含む
	学校保健	2以上	学校保健	(看護学類開設) 学校保健 公衆衛生看護学概論	
養	養護概説	2以上	養護概説	(看護学類開設) 養護概説 健康教育論	
	健康相談活動の理 論及び方法	2 以上	健康相談活 動の理論及 び方法	(看護学類開設) カウンセリング論	
護	栄養学(食品学を 含む。)	2 以上	栄養学(食品 学を含む。)	(看護学類開設) 人体の代謝と栄養 食物・栄養学演習	食品学を含む
ter.	解剖学及び生理学	2以上	解剖学及び 生理学	(看護学類開設) 人体の構造と機能 I 人体の構造と機能 II 機能形態学演習 臨床病態学	
教	「微生物学,免疫学,薬理概論」	2以上	「微生物学, 免疫学,薬理 概論」	(看護学類開設) 臨床薬理学 感染と免疫	
^	精神保健	2以上	精神保健	(看護学類開設) 精神看護学概論 精神保健看護方法論	
諭	看護学(臨床実習 及び救急処置を含 む。)	10以上	看護学(臨床 実習及び 急処置を含 む。)	(看護学類開設) 基礎看護学概論 基本看護技術 基本本看護技術演習 フィンテント 基本本のででである。 基本本のででである。 基本をできまである。 基本をできまである。 基礎看護学実習のである。 「基礎看護技術実習」 を表する。 「基礎看護技術実習」 を表する。 「基礎看護技術実習」 を表する。 「基礎看護技術実習」 を表する。 「基礎看護学実習」 を表する。 「基礎看護学実習」 を表する。 「基礎看護学実習」 を表する。 「基礎看護学実習」 を表する。 「基礎看護学実習」 を表する。 「表述のできまる。 「表述のできまる。」 「表述のできまる。 「表述のできまる。」 「表述のできまる。 「表述のできまる。」 「表述のできまる。 「表述のできま。 「表述のできまる。 「表述のできる。 「表述のできる。 「表述のできる。 「表述のできる。 「表述のできる。 「表述のできる。 「表述のできる。 「表述ので。 「表述。 「表述。 「表述。 「表述。 「表述。 「表述。 「表述。 「表述	
	合 計	2 8			
L			1		

⁽注) 1. 養護に関する科目の欄中,()内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 養護に関する科目の欄中,○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。

体育専門学群

免	免許法に規定	ごする科目	Ī				
許教	教科に関する	最低修行	导単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	専門的事項	中学校	高等学校				
保	体育実技	1以上	1以上	体育実技	(体育専門学群開設) ◎学校技技, 実技, (A群) 体操, (B群) 体上泳デンス, (B群) 体上泳デンス, (B群) 体上泳デッル、 (C群) 水バスケッボール, (C群) 水バスケッボール, (E群) テールボックシッドトール (F群) デーロボックシャール (F群) デーロボックシャール (F群) デーロボックシャール (F群) デーロックシャール (H群) 臨外運動 (H群) いっといっ。 (日本) にいっといっ。 (日本) にいっといっといっといっ。 (日本) にいっといっといっといっといっといっといっといっといっといっといっといっといっとい		
健	「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育社会学, 体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	1以上	1以上	「体育原理,体育心理学,体育 経営管理学,体育 経会学,体育 史」	(体育専門学群開設) 体育・スポーツ心理学, 体育・スポーツ経営学, スポーツ社会学, 体育・スポーツ史, 武道学 I, 武道学 II,		
体				運動学(運動方 法学を含む。)	 ◎体育哲学, スポーツ哲学 (体育専門学群開設) ②運動学 I, 運動学 II, 一般コーチング学, 一般トレーニング学 		
育	生理学 (運動生理学を含む。)	1以上	1以上	生理学 (運動生 理学を含む。)	(体育専門学群開設) 生理学, ◎運動生理学, 運動生化学		
	衛生学及び公衆衛生 学	1以上	1以上	衛生学及び公衆 衛生学	(体育専門学群開設) ◎衛生・公衆衛生学, 環境保健学		
	学校保健(小児保健, 精神保健,学校安全 及び救急処置を含 む。)	1以上	1以上	学校保健(小児保健,精神保健, 学校安全及び救 急処置を含む。)	(体育専門学群開設) ◎学校保健学 I (小児保健及び学校安全を含む), 学校保健学 II, ◎健康教育学(精神保健を含む), 精神保健学, 健康社会学, ◎スポーツ医学 I (救急処置を含む)		
(4	合 計 □学一種,高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 - 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 - 3. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 - 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

芸術専門学群

		云 州 寺门子 什						
	免許教	免許法に規定する科目						
		教科に関 最低修得単位数 する専門		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)		備考	
	科	的事項	中学校	高等学校				
		絵画(映 像メ現を 含む。)	1以上	1以上	絵画	素 版 -1 \sim 2 2 -1 \sim -1	学 群 所 $= 1$ $= 1$ $= 2$ $= 2$ $= 1$ $= 1$ $= 2$ $= 1$ $= 1$ $= 2$ $= 1$ $= $	
	美				絵画(映 像メディ 表現を 含む。)	◎素描基礎演習 1 ~ 2		下線2科目 から1科目 選択必修
		彫刻	1以上	1以上	彫刻	型造上の I - A - 1 ~ 2 型	塑造 Π	下線4科目 から1科目 選択必修
	術	デザイを表でいます。	1以上	1以上	(映像メ	平平立 平立 中面構成 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位	総合造形創作演習A-I・ IR 展示 造形・パフォーマンス I 展示 造形・パフォーマンス I 展示 造形・パフォーマンス I 要・サイン・サイン・ ロー・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	下線4科目 から1科目選 択必修
		工芸	1以上	_	む。) 工芸	(芸術専門会 工芸基礎演習 (ガラス) 工芸基礎演習 (陶磁) 工芸基礎演習 (木工) テラコッタ実習 陶磁基礎演習 木工基礎演習 オフス基礎演習	学群開設) -油彩画基礎演習1 -油彩画基礎演習2 -日本画基基礎演習2 -日本地面基基礎演習2 - 立体加技法演習2 - 漢芸技法演習	

				油絵基礎技法演習 日本画技法演習 ◎工芸概論 ◎建築デザイン概論 ◎環境デザイン概論 デザイン基礎演習 1 - I ~ II デザイン基礎演習 2 - I ~ II	ロクロ技法演習	下線3科目 から1科目 選択必修 (中学のみ)
美及史並本美ア美むっぱの術がの含	1以上	1以上	美術理論	(芸術専門 美術論 A − 1 ~ 2 美術論 B − 1 ~ 2 芸用解剖学 I 芸用解剖学 I 芸用概論 洋画概論 洋画構概論 日本画機論 日本画概論 版合造形概論	芸術学概論-1 芸術学概論-2 芸術支援学概論 日本で支援学研究 芸術表更鑑援学 I A-1~2 芸術表 2 芸術表型 習が I A-1~2 芸術方支援学 II B-1~2 芸術方支援学 II B-1~2 ニーアートーーアートーーアートーーアートーーアートーーアートーーアートーーーーーー	
			美術史	(芸術専門 美術史特講 $A-1\sim 2$ 美術論特講 $B-1\sim 2$ 美術史特講 $C-1\sim 2$ 美術史特講 $D-1\sim 2$	学群開設) 美術史演習 A - 1 ~ 2 美術史演習 B - 1 ~ 2 美術史演習 C - 1 ~ 2 美術史演習 D - 1 ~ 2	
			美(びの術ジ術む史賞日統びの含並本美ア美	◎美術史概説 A - 1 ~ 2◎美術史概説 B - 1 ~ 2		下線4科目 から1科目 選択必修
合計 (中学一種, 高校一種)	2 0	2 0	5 本 云 ① 堋			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中,◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

芸術専門学群

免	免許法に規定する科目				
許教	教科に関する専門	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
科	りる専門的事項	高等学校		(100)	
	図法及び 製図	1以上	図法及び製図	(芸術専門学群開設) デザイン基礎演習 1 - I ~ II デザイン演習 1 - A ・ B デザイン 演習 2 - A ・ B デザイン 演習 5 - A ・ B デザイン 演習 5 - A ・ B デザイン 演習 6 - A ・ B デザイン 演習 6 - A ・ B ②プレゼンテーション 基礎 演習	
	デザイン	1 以上	デザイン	(芸術専門学群開設)	
エ				平面構成演習 平面構成総合演習 立体構成総合演習	下線4科目 から1科目 選択必修
	工芸制作 (プロダ	1以上	工芸制作	(芸術専門学群開設)	
	クト制作を含む。)			工芸基礎演習 (ガラス) 油彩画基礎演習 1 ~ 2 日本画基礎演習 1 ~ 2 日本画基礎演習 1 ~ 2 影塑基礎演習 1 ~ 2 影塑基礎演習 1 ~ 2 影塑基礎演習 1 ~ 2 影型基礎演習 1 ~ 2 影型基礎演習 1 ~ 2 影型基礎演習 1 ~ 2 下ラコッタ実習	
			(プロダ クト制作 を含む。)	◎陶磁基礎演習◎水工基礎演習◎立体加工基礎演習	下線4科目 から1科目 選択必修
芸	工論イ及史並本工アエむ芸デ理美鑑に伝及アを要が強術賞日統びの含	1以上	工芸理論, デザイン 理論	(芸術専門学群開設) 工芸概論 総章第デザイン概論 建築デザイン概論 精市デザイン概論 指定宅地計画論 美術史特講 $A-1\sim 2$ 美術史特講 $B-1\sim 2$ 美術史方子イブ・アート ライティング-1~2	
			美術史	彫刻史A-I~Ⅱ	
			賞日統びの含 並本エアエむ。 に伝及アを	◎美術史概説 A - 1 ~ 2◎美術史概説 B - 1 ~ 2	下線4科目 から1科目 選択必修
			デザイン 理論	生産材料・技術論	
合(高	計 5校一種)	2 0	r_la HIII		
(注) = BB L > == BB 44 =	1	() 内のものは必ず含めて修得したければたらたい。	l .

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。 3. 本学における開設授業科目の欄中,◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。

芸術専門学群

Z 11	云州 守门于什							
免	免許法に規定で	する科目						
許教科	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 高等学校	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考			
書	書道(書写を含む。)	1以上	書道(書写を 含む。)	(芸術専門学群開設) ◎書実習基礎Ⅱ-1~2 ◎書実習基礎Ⅱ-1~2 書実習漢字制作A-1~2 書実習漢字制作B-1~2 書実習漢字制作C-1~2 書実習仮名制作A-1~2 書実習仮名制作 B-1~2 書実習仮名制作 C-1~2				
	書道史	1以上	書道史	(芸術専門学群開設) ◎中国書法史 I ◎中国書法史 II ◎日本書道史 I ◎日本書道史 II				
	「書論,鑑賞」	1以上	「書論,鑑 賞」	(芸術専門学群開設) ◎書鑑賞論 I ◎書鑑賞論 II 書学方法論 I 書学方法論 II				
道	「国文学,漢文学」	1以上	「国文学, 漢 文学」	(比較文化学類開設) ○日本文学概論 ○日本文学講読1 日本文学講読2~8 日本文学史中国文学供論中国文学機論中国文学講話I~Ⅱ (日本語・日本文学規論) ○日本の文学概論 ○日本文学の歴史 ○中国文学と日本文学演習Ⅰ ○中国文学と日本文学演習Ⅰ 	下線7科目 から1科目 選択必修			
	合 計 (高校一種)	2 0						

- (高校一種) (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中,() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。 2. 教科に関する専門的事項の欄中,「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。 3. 本学における開設授業科目の欄中,◎の付してあるものは,免許取得の際の必修科目を表す。